

第七十五回
帝國議會
貴族院

鑛業法中改正法律案特別委員會會議事速記録第四號

昭和十五年三月二十日(水曜日)午前十時
十一分開會

○委員長(子爵保科正昭君) 是ヨリ委員會

ヲ開催致シマス、今日ハ昨日ノ有機合成事
業法案ノ續キヲ問題ト致シマス、化學局長

○政府委員(永田彦太郎君) 有機合成事業

法ノ概要ニ付キマシテハ、既ニ本會議及ビ

昨日ノ委員會ニ於キマシテ御説明ヲ申上

タノデゴザイマスガ、モウ少シ補足致シマ

シテ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、此

ノ事業法ノ建前ハ大體從來出來マシタ自動

車製造事業法デアリマスルカ、工作機械

製造事業法デアリマスルカ、輕金屬製造

事業法デアリマスルカ、數種ノ

事業法ト同ジ形式ノモノデゴザイマシテ、

法案自體ノ御説明ハ餘リ詳シク申上ゲル必

要モナカラウカト存ズルノデゴザイマスル

ガ、之ヲ適用致サウト考ヘテ居リマスル品

目ガ從來ノモノト異リ、化學製品デゴザイ

マシテ、比較的日常生活ニ關係薄イモ

ノデゴザイマスルノデ、其ノ品目ニ付キマ

シテ簡單ニ御説明ヲ申上ゲタイト存ジマス、

御手許ニ差上ゲマシタ有機合成事業法適用

品目及用途ヲ御覽ヲ願ヒナガラ御説明ヲ申

上ゲテ行キタイト存ジマス、ソレノ一番終

ヒニ表ヲ付ケテゴザイマスノデ、之ヲチヨッ

ト御覽ヲ願ヒタイト存ジマス、大體今度此

ノ有機合成事業法ヲ適用シテ参リタイト思

ヒマスルノガ「カーバイド」カラ出發致シマ

スル各種ノ有機合成品、ソレカラ水性瓦斯

レカラ「タール」カラ出發致シマスル有機合

成品、是等ヲ差當リ此ノ法律ノ適用品目ト

致シタイト考ヘテ居リマス、「カーバイド」

カラ出發致シマスモノトシテハ此ノ表ノ下

ノ方ニゴザイマスルヤウニ、石灰ト石灰カ

ラ出來マシテ「カーバイド」ガ出來ルノデア

リマスガ、ソレカラ上ニ参リマシテ「アセ

チレン」ガ出來マシテ、更ニ上ニ参リマス

ト「アセトアルデヒド」、醋酸、無水醋酸ト

云フ風ニ出來テ参リマス、ソレカラ又横ヘ

枝ヲ出シマシテ、下ノ方デ「エチレン」ガ出

來マス、ソレカラ「アセトアルデヒド」カラ

「ブタノール」ガ出來マス、醋酸カラ「アセ

トン」ガ出來マス、又ソレ等ノモノカラ各

種ノ合成品ガ出來ルノデゴザイマス、水性

瓦斯ノ方カラ参リマス、上ニ参リマシテ

「メタール」ガ出來マシテ、「フォルマリン」

ガ出來マス、是等カラ又各種ノ合成品ガ出

來マス、ソレカラ水性瓦斯ノ方ハ「イソブ

タノール」ヲ經テ「イソオクタン」ガ出來ル

ノデアリマス、斯ウ云フ風ニ、此ノ出發點

ハ簡單ナンデアリマスガ、出來ル製品ガ極

メテ澤山ナモノガ出來マスルノデ、是等ノ

中、差當リ國防上、産業上必要ナ品目ヲ捉

ヘマシテ、之ヲ此ノ事業法ノ適用品目ト致

シタイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、ソレ

デ差當リ考ヘテ居リマスルノハ、先ヅ合成

「ゴム」デゴザイマス、デ此ノ合成「ゴム」ニ

「ブタヂエン」系ノモノト「クロロブレン」系

ノモノガゴザイマスルノデ、「ブタヂエン」

トカ、或ハ「ソヴィエット」ノ「エス・ケー・ビ

」ト云フ風ナモノガ之ニ屬スルモノデゴ

ザイマス、此ノ兩國デハ相當製品ヲ出シテ

居ルト云フコトヲ聞イテ居リマス、我が國

ニ於キマシテハ、各所ノ研究室デ研究ヲサ

レタノデアリマシテ、大阪ノ工業試験所デ

研究致シマシタモノガ、只今日産一二十

「キロ」ノ試験設備ヲ造リマシテ、大體其ノ

試験ヲ完了致シマシタ、今年ハ之ヲ日本化

成デ「トン」位ノ「プラント」ヲ造リタイト

云フ計畫ヲ持ッテ居ルノデゴザイマス、其ノ

製品ハアソコニ陳列致シマシタノデ御覽ヲ

願ヒタイト存ズルノデアリマスガ、此ノ

「ブタヂエン」系ノ「ゴム」ハ耐油性、耐酸化

性、瓦斯透過防止性、電氣絶縁性、耐熱性

ト云フ風ナ化學的性質ガ何レモ天然「ゴム」

ヨリモ優ッテ居リマス、又磨滅ニ對スル抵

抗力モ強イノデゴザイマシテ、各種ノ「タイ

ヤ」デアリマスルカ、或ハ戰車デアリマ

スルトカト云フ風ナモノニ使用サレルベキ

モノデアラウト考ヘルノデゴザイマス、現

ニ「ドイツ」邊リデハ之ヲ使ッテ居ルト云フコ

トヲ聞キ及ンデ居ルノデゴザイマス、ソレ

カラ「クロロブレン」系ノモノハ「アメリカ」

ノ「デュボン」ノ會社デ造ッテ居リマス「ネオ

ブレン」、ソレカラ「ソヴィエット」ノ「ソブ

ブレン」、是ガ「クロロブレン」系ノ合成「ゴ

ム」デゴザイマシテ、是ハ矢張り兩國トモ、

相當製品ヲ出シテ居ルノデゴザイマス、我

ガ國ニ於キマシテハ、「ブリッヂストン」・「タイ

シテ、只今日産二三十「キロ」ノ設備ヲ持ッ

テ居リマス、是ガ矢張り今年アタリ「ト

ン」位ノ「プラント」ヲ造ル計畫ヲ進メテ居

ルノデゴザイマス、此ノ「クロロブレン」系

ノモノハ天然「ゴム」ニ比較致シマシテ、電氣

絶縁性ガ劣リマスルコトト、ソレカラ惡臭

ヲ持ッテ居ル點ガ缺點ナノデアリマスルガ、

其ノ他ノ點ニ於キマシテハ大體天然「ゴム」

ト同等若シクハソレ以上ノ性能ヲ有ッテ居

リマスルノデ、天然「ゴム」ノ代用品トシテハ、

或用途以外ノモノニ付テハ十分代用ガ出來

ルト考ヘルノデゴザイマス、デ「ブタヂエ

ン」系ノモノハ其ノ「ゴスト」ガ相當高ク掛カ

リマス、ソレニ對シマシテ、此ノ「クロロ

ブレン」系ノモノハ、比較的安ク出來マス

ルノデ、其ノ點ハ「クロロブレン」系ノモノ

ハ強味ガアルト云フ風ニ考ヘテ居リマス、

ソレカラ其ノ次ニハ合成「トルオール」デゴ

ザイマスルガ、是ハ從來ハ石炭乾餾ノ副產

物トシテ造ラレテ居タノデゴザイマスル

ガ、爆藥ノ原料トシマシテ缺クベカラザル

モノデアリ、又國防色染色ノ原料トシテ、

是亦缺クベカラザルモノデアアルノデアリマ

スルガ、今申上ゲマシタヤウニ石炭乾餾ノ

副產物デアリマスル爲ニ、此ノ生産ヲ増サ

ウト致シマスルト、非常ニ設備ノ大キナモ

ノヲ造ラナクチャナラナイト云フ點ガ難點

デアッタノデゴザイマスルガ、之ヲ合成ノ方

法ニ依ッテ造ルコトヲ研究致シマシテ、東京

ノ工業試験所ガ研究ヲ致シマシタノデゴザ

年ノ秋カラ日本「カーバイド」工業株式會社ニ於キマシテ年産百「トン」ノ「バイロット」プラントヲ作りマシテ、其ノ製品ヲ出スコトニナッテ居ルノ「デゴザイマス」、デ此ノ方法ニ依リマスルト、矢張り生産費ガ相當高ク掛カルノ「デゴザイマス」ノデ政府ト致シマシテハ此ノ事業ノ完成ヲ助成致シマスル爲ニ、今年度十七萬圓ノ補助金ヲ組ミマシテ、サウシテ其ノ生産額ニ應ジテ市價トノ開キヲ補助シテ行クト云フ方法ヲ執リタイト考ヘテ居ルノ「デゴザイマス」、其ノ次ハ合成纖維「デアリマスガ」、是ハ「アメリカ」ノ「ナイロン」ト稱シテ知ラレテ居ルモノガ既ニ市場ニ出テ居ルノ「デゴザイマス」、不幸ニシテ我が國デハマダ市場ニ出ル迄ニハ參ッテ居リマセヌ、併シナガラ各所ノ研究所デ研究ヲ遂ゲマシテ、京都大學ノ合成第一號「デアリマスルトカ、鐘紡」カネビヤン「デアリマスルトカ」ト云フモノガ、既ニ試驗室ノ研究ヲ終リマシテ、此ノ試驗製品ガ出テ居ルノ「デゴザイマス」、カネビヤンノ製品ハ此處ニ持ッテ參ッテ居リマスカラ、後デ御覽ヲ願ヒタイト思ヒマス、ソレカラ其ノ次ハ合成「ベンゾール」「デアリマスガ」、是ハ「トルオール」ヲ造リマスル時ニ一緒ニ出來テ參ルモノ「デアリマシテ」、矢張り爆藥ノ原料トシテ使ハレルノ「デアリマス」、ソレカラ其ノ次ハ「アセトン」「デゴザイマスガ」、是ハ矢張り航空機用ノ硝子ノ原料トナリマシタリ、或ハ自動車、航空機ノ「ブレイキ」油ノ原料トナリマスルトカ、其ノ他航空機ノ翼ノ塗料、ソレカラ電線、電纜ノ被覆、映畫用生「フィルム」、航空及「レントゲン」寫眞「フィルム」、セルロイド、「レザ」其ノ他一般ノ溶劑トシテ非常ニ廣イ用途ヲ有ッテ居ル

ノ「デゴザイマス」、ソレカラ高級「アルコイ」ル「デゴザイマスガ」、是ハ「ブタノール」自體トシマシテ各種ノ用途ヲ有チマスル外、「イソブタノール」ト共ニ先程申上ゲマシタ航空燃料「イソオクタン」ノ製造原料トナリマスルノデ、「オクタン」價ノ高イ航空機用ノ燃料トシマシテ缺クベカラザル「イソオクタン」ガ、從來ハ石油瓦斯カラ製造スルシカ仕方ガナカッタ「デゴザイマスガ」、不幸ニシテ我が國ハ石油資源ヲ持チマセヌノデ、其ノ方法ニ依リマシテハ、到底需要ヲ充タシ得ナイノ「デアリマスガ」、幸ニ此ノ合成ノ方法ニ依リマシテ「イソオクタン」ガ出來ルコトニナリマスレバ、其ノ航空機用ノ燃料問題モ、之ニ依ッテ解決セラレルノ「デハナイカ」、斯ウ考ヘル次第「デゴザイマス」、ソレカラ「グリコール」、是ハ「グリセリン」ノ代用ト致シマシテ、爆藥殊ニ不凍性ノ爆藥ノ原料トナリマス、又醫藥ノ原料トナッタリ、ソレカラ高級ナル塗料溶劑、ソレカラ寒イ所ニ於テ航空機ヤ自動車ノ用途、ト云フ風ナモノニ使ハレマスルシ、尙毒瓦斯等モ是カラ出來ルト云フ譯ナノ「デゴザイマス」、次ハ合成樹脂「デゴザイマスガ」、之ニ凡ソ三ツ位ノ種類ガ「デゴザイマス」、先ヅ第一ハ「メタクリル」酸樹脂、是ハ航空機用ノ靱性硝子及ビ金屬塗料、其ノ他成型品トシマシテ使ハレマス「ヴィニール」樹脂ハ電池ノ隔膜「デアリマス」トカ、反應釜ノ内面塗料、或ハ食料品ノ罐詰ノ内面塗料ト云フ風ナモノニ使ハレマス、ソレカラ「スチロール」樹脂、是ハ電氣絶緣性が優レテ居リマスノ「デ、電氣ノ絶緣材料トシテ使ハレルノ「デゴザイマス」、ソレカラ合成醋酸「デアリマスガ」、

是ハ航空機ノ翼ノ塗料及ビ不燃性「セルロイド」ノ原料「デアル」所ノ無水醋酸及ビ醋酸纖維素ノ原料トナリマス、尙此ノ醋酸カラ各種ノ合成品ガ出來ルコトハ先程申上ゲタ通り「デアリマス」、「メタノール」、是ハ爆藥ノ原料トナリマシタリ、或ハ航空機用ノ靱性硝子、染料中間物、其ノ他各種ノ工業藥品、醫藥ノ原料トナリマス、ソレカラ溶劑トナリマス、尙是カラ「フォルマリン」ガ出來ルノ「デゴザイマス」、ソレカラ此ノ「メタノール」カラ「アセタール」ト云フモノガ出來マシテ、是ガ自動車ノ揮發油ノ代用燃料トシテ、將來ハ有望デナイカト考ヘラレルノ「デゴザイマス」、ソレカラ「フォルマリン」、是ハ前カラ「デゴザイマス」ノデ、此ノ用途等ハ省略サセテ戴キマス、合成「タンニン」、此ノ「タンニン」ガ矢張り内地デ出來マセヌノデ、其ノ需要ノ大部分ヲ輸入ニ俟ッテ居ルノ「デゴザイマス」ガ、皮ヲ鞣スノニハ缺クベカラザルモノ「デアリマス」ノデ、是ハ何トカシテ國産ニ依ッテ賄ヒ得ルヤウニ致シタイト考ヘルノ「デゴザイマス」、來年度ノ豫算ニ於キマシテモ、北海道ノ赤蝦夷松カラ國産「タンニン」ヲ造ル爲メニ補助金ヲ計上致シテ居リマス、併シナガラ是等ノ數量ニ依リマシテモ、到底需要ヲ充スコトハ出來マセヌノデ、ドウシテモ合成ニ依ッテ其ノ不足ヲ補填シテ行カナケレバナラナイト考ヘマスルノデ、研究ヲ續ケテ居ルノ「デアリマスガ」、マダ十分天然「タンニン」ニ代ルト云フ所マデハ進ンデ居リマセヌ、薄イ皮「デアレ」十分鞣シ得ルト云フ確信ヲ得テ居リマスルシ、又天然「タンニン」ト混ゼテ使ヘバ、相當使ヘルト云フ自信モ出來テ居リマスルノデ、合成ノ方法ニ依リマシテ「タンニン」

ガ出來ルト云フコトニナレバ、矢張り輸入ヲセナイデモ、國産ニ依ッテ「タンニン」ガ出來テ行クト云フコトニナラウト考ヘルノ「デゴザイマス」、大體只今ノ所デハ申上ゲマシタヤウナ合成品ヲ、此ノ事業法ノ適用品トシテ參リタイト、斯ウ考ヘテ居ルノ「デゴザイマスガ」、御承知ノヤウニ化學、技術ノ進歩ニ依リマシテ、如何ナル新シイ品物ガ出來ルカト云フコトハ、到底豫測出來ナイノ「デゴザイマス」カラ、將來新シイモノガ發見サレマシタ場合ニハ、ソレヲ「シドシ」之ニ附ケ加ヘテ參リタイト、斯ウ考ヘテ居ル次第「デゴザイマス」、一應此ノ合成事業法ノ適用品目ニ付キマシテ御説明ヲ申上ゲタ次第「デアリマスガ」、尙ホ御質問ニ應ジマシテ御答ヘ申上ゲタイト思ヒマス

○公爵岩倉具榮君 有機合成事業ノ製品ハ此ノ法案ニ依リマス、相當ノ保護ガ加ヘラレテ居リマス、例ヘバ第七條ノ法人稅及ビ營業稅ノ免除第十二條ノ獎勵金ノ交付、第二十二條ノ同種ノ用途ヲ有スル物品ノ輸入制限、第二十三條ノ輸入稅課スルナド「デゴザイマスガ」、此ノ保護サレタ製品ガ現在國內ノ消費者側カラ非常ナ非難ヲ受ケテ居リマス、「ステーキブル・ファイバー」ノ製品ノヤウニ、消費者ニ非常ナ不便ヲ感ジサセル結果トナラナイカト思ヒマス、例ヘバ合成「ゴム」デスガ、此ノ製品ハ只今ノ御説明ニ依リマス、自然「ゴム」カラノ製品ヨリモ優秀ダサウデスガ、現在「デモ」「ゴム」足袋トカ、「ゴム」靴ヲ使用シテ、農村方面「デハ代用」「ゴム」ノ製品ガ劣等デ、使用ニ堪ヘナイト云フ非難ノ聲ヲ聞クノ「デアリマスガ」、此ノ消費者ノ不便ヲ益増スコトニハナラナイカト云フ點ニ付テ質問シタイノ「デア

リマス、ソレカラ此ノ有機合成事業ノ確立ガ國防上又産業上ニ重要ナ點カラ、多少ノ消費者側ノ不便ハ已ムヲ得ナイト云フ、政府ノ御考ヘデアルカモ知レナイト思ヒマスガ、現在國民ノ必需品デアリマス木綿代用ノ「ステープル・ファイバー」ガ、消費者ノ國民ニ不便ノミヲ掛ケテ居ル割合ニハ、製造會社ガ相當ノ利益配當ガアツテ、國策ノ保護ニ安ズルト云フコトガアルノデハナイカト思ヒマス、此ノ有機合成事業モ此ノヤウナ結果ニナリハシナイカト思ヒマス、ソレデ第十七條ノ此ノ事業ノ業務、財産ノ監督及ビ利益ニ關スル監督ヲ、政府ノ必要ナル場合ニ報告セシメタリ、檢査スルヤウナ微温ノ方法ニ止メナイデ、常ニ財産及ビ業務ノ狀況、會計ノ狀況ヲ報告スル義務ヲ此ノ事業會社ニ負ハス規定ニ變ヘタ方ガ宜クハナイカト思ヒマスガ、政府ノ御考ハ如何デセウ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今御質問ノ

ゴザイマシタ第一點デゴザイマスガ、此ノ有機合成事業法ノ、保護ヲ受ケテ出來テ參リマス各種ノ合成品ガ、品質ガ惡クテソレニ依ツテ消費者ニ迷惑ヲ掛ケルヤウナコトガナイカト云フ御尋ネデゴザイマスガ、「ステープル・ファイバー」ニ付キマシテハ、甚ダ馨バシクナイオ手本ガ出テ居リマスルノデ、甚ダ私共ト致シマシテモ恐縮ニ存ズルノデゴザイマスガ、只今考ヘテ居リマスル各種ノ合成品ハ、大體天然品ト變ラナイ性質ヲ持ツテ居リマス、殊ニ此ノ合成「ゴム」ノ如キハ、天然「ゴム」ヨリモ極メテ優秀ナ性能ヲ持ツテ居リマスルノデ、天然「ゴム」デハ使ヘナカク用途ニ迄是ガ入ッテ行クト云フ風ニ考ヘテ居ルノデゴザイマス、只今大

阪ノ試驗所デ造ッテ居リマスル、「ブタデエン」系ノモノニ付キマシテモ、相當軍ノ關係デ、其ノ用途ヲ研究シテ居ルノデアリマスガ、是ハ天然「ゴム」ヨリモ相當優レタ性質ヲ持ツテ居リ、相當廣イ用途ガ約束サレテ居ルト云フ風ニ聞イテ居ルノデゴザイマス、尙其ノ詳シイ點ハ研究者ガ此處ニ參ッテ居リマスカラ、必要ガアレバ御説明申上ゲタイト思フテ居リマス、其ノ他ノモノニ付キマシテモ、今「ステープル・ファイバー」ガ綿ノ代用トシテ信用ヲ落シテ居ルヤウナ用途ニハ、是ハ使ハナイ積リデ居リマス、「ステープル・ファイバー」モ「ステープル・ファイバー」ノ本來ノ用途ニ使ッテ居レバ、ア、云フ非難ハナカッタラウト思ヒマスガ、不幸ニシテ綿ガ餘リニ足ラナカク爲ニ、使フベカラザル方面ニ進出サセタ結果、アノ不信用ヲ生ジタノデハナイカト考ヘテ居リマス、此ノ有機合成品トシマシテハ、サウ廣グ用途ヲ擴ゲテ行ク必要モナカラウト思ヒマスルノデ、其ノ本來ノ用途ニ使ッテ參リマスレバ、サウ消費者ニ迷惑ヲ掛ケルコトハナカラウト存ジマス、尙先程地下足袋、「ゴム」靴ノ品質ガ非常ニ惡クナッタト云フ點ヲ御指摘ニナリマシタガ、是ハ實ハ再生「ゴム」ヲ使ッテ造ッテ居リマス、モウ少シ生「ゴム」ヲ澤山ニ入レテ造リマスレバ、サウヒドイモノハ出來ナカッタノデアリマスガ、コ、數箇月前迄ハ政府トシマシテ、原料「ゴム」ノ配給統制ヲ致シテ居リマシタケレドモ、製品ノ方迄手ガ廻リマセヌデシタノデ、地下足袋製造業者ノ方デ成ルベク生「ゴム」ヲ少ク使ヒ、再生「ゴム」ヲ澤山使ッテ造リマシタ爲ニ、品質ノ惡イ物が相當出タノデアリマス、コ、數箇月前カラ製品ノ方

ノ配給統制モ致シマスシ、製品檢査モ勵行致シマスノデ、必要ナ分量ノ生「ゴム」ヲ使ハセルヤウニ致シマシテ造ッテ居リマスカラ、最近出マス製品ハサウ從來ノヤウナ、ヒドイ物ハナイ積リデ居リマス、尙此ノ地下足袋ノ「ゴム」靴ニハ纖維ガ必要ナンデゴザイマス、是亦綿ガ足りナカク爲、「ステープル・ファイバー」ヲ使ヒマシタガ、「ゴム」ノ方ガ保ツデ、纖維ノ方ガ參ッテシマフト云フヤウナ物がアツタノデアリマスガ、纖維局トモ交渉致シマシテ、是等ノ履物ニハ出來ルダケ綿ヲ配給スルヤウニ努メテ居リマスノデ、此ノ方面モ將來ハ相當改善サレルモノト考ヘテ居リマス、ソレカラ第二點デゴザイマスルガ、有機合成事業會社ハ相當ノ保護助成ヲ蒙ッテ居ルノニ對シテ、其ノ監督方面ガ此ノ法案デハ少シ緩ニ失スルノデヤナイカト云フ御趣旨ト拜承致シマシタ、私共トシマシテハ、大體從來ノ事業法モ此ノ行キ方ヲ致シテ居リマシテ、サウ大シテ監督上支障ヲ來スヤウナコトモナカッタヤウニ考ヘマスルノデ、只今ノ處デハ此ノ十七條程度ノ監督規定デ、一應間ニ合フノデヤナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙併シ將來是デハ到底目的ヲ達シナイト云フ風ナ事態ニナリマシタ場合ニハ、ドシノ之ヲ強化致シマシテ、必要ナ監督ガ出來ルヤウニ致シテ參リタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○公爵岩倉具榮君 次ハ第十二條ノ有機合

成品ニ獎勵金ヲ交付スルコトニ付デアリマスガ、幼稚産業ノ發達助成手段ノ一ツトシテ、昔カラ獎勵金ノ交付ガ用ヒラレテ、時ニハ助成ノ目的ヲ達シマシタモノモアリマスガ、又時ニハ獎勵金ノ上ニ安逸ヲ貪ルノ云フ例ハ少クナイト思ヒマス、甚シイ例

ニナリマストハ、業務ノ發達ヨリモ獎勵金ノ交付ヲ受ケル方ガ大切ナ仕事ニナッテ居ルモノモアルノデハナイカト思ヒマス、ソレデ此ノ獎勵金ハ最モ有効適切ニ用ヒマセスト、國民ノ負擔ヲ増スベカリデ、效果ガ少イト思ヒマス、此ノ事業ニ於テモ第二十一條ノ研究又ハ試驗ヲ爲ス者ニ對スル獎勵金ノ交付ヲ重クシ、製品ニ對スル獎勵金ハナクスルカ、ソレガ出來ナケレバ極度ノ制限ヲ加ヘル必要ガアルト思ヒマスガ、政府ノ御考ハ如何デセウカ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今十二條ノ

製品ニ對スル獎勵金ノ交付ニ付キマシテ御質疑デゴザイマシタガ、從來ノ例ヲ見マス、或ハ會社ニ對スル損失補償ト云フ風ナ方法ヲ取ツタ場合モアルノデアリマス、サウ致シマスルト、實際利益ガアツタニ拘ブス、ナカッタヤウナ額ヲシテ補助金ヲ貰ッテ行クト云フ風ナ弊害モ起ツタコトモ存ズルノデゴザイマスガ、此ノ生産獎勵金ノ方法ニ依リマスレバ、實際物ヲ出シテ參ラナケレバ此ノ獎勵金ハ貰ヘナイノデアリマスカラ、安逸ヲ貪ッテ獎勵金ヲ獲得ニノミカヲ注グト云フ風ナコトハ出來ナイト思ヒマス、尙此ノ製品ノ獎勵金ヲ止メタラドウト云フ御質疑ノ趣キダツタト存ジマスガ、先程モ申上ゲマシタヤウニ、合成「ゴム」デアリマスルトカ、合成「トルオール」デアリマスルトカ云フモノハ、天然ノモノト比ベマシテ非常ニ生産費ガ高ク掛リマスルノデ、之ヲ其ノ儘デ置キマシテハ、到底天然ノ製品トノ競争ガ出來ナイノデアリマス、ソコデドウシテモ最初ノ中ハ此ノ天然品ト合成品トノ生産費ノ差額ヲ何等カノ方法ニ依ツテ、生産者ノ負擔デナイト云フ方法ニシテヤリマセヌ

ト、到底此ノ事業ハ發達シナイト斯ウ考ヘ
マスルノデ、或ハ之ヲ高ク賣ラセルト云フ
コトモ一ツ方法カトモ存ジマスケレドモ、
ソレデハ只今ノ低物價政策ト云フモノニモ
反シテ參リマスルノデ、ドウシテモハ政府
ガ其ノ損失ヲ補償シテヤルト云フ方法ニ
依ッテ獎勵シテ參リマセスト、此ノ事業ノ
確立ヲ圖ルコトハ困難デヤナイカト斯ウ考
ヘマシテ、生産獎勵金ノ制度ヲ立テタ次第
デゴザイマス、併シナガラ先程モ申上ガマ
シタヤウニ、此ノ生産獎勵金ノ方法ニ依リ
マスレバ、從來動モスレバ其ノ弊害ヲ生ジ
タヤウナ、政府ノ補助ニ馴レテ、勉強シナ
イト云フ風ナコトハ起ラスモノト、斯ウ確
信致シテ居ル次第デゴザイマス

○公爵岩倉具榮君 次ニ電力ト石炭トノ關
係ニ付テ御尋ネ致シマス、此ノ有機合成事
業ハ、商工省ノ方カラ戴キマシタ永田化學
局長ノ「我國ニ於ケル新興合成化學工業ニ就
テ」ニモ明瞭ニ書イテアリマシヤウニ、電力ト
石炭トノ關係ガ最モ深イト思ヒマスガ、現
在ノ電力、石炭ノ狀態カラ見テ、此ノ事業
ノ發達ハサウ容易デナイト思ハレマスガ、
政府ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス、又此ノ
事業ヲ發達セシメル一ツノ手段トシテ、電
力ト石炭ヲ低廉ニ、又豊富ニ供給スルヤウ
ニシテハ如何デセウカ、ソレガ出來ナイ場
合ニハ、此ノ事業會社トハ限リマセヌガ、
少ナクトモ會社ノ事業ノ發展ニ努力スルコ
トニハ餘リ制限ヲ加ヘナイコトガ必要ト思
ヒマス、此ノヤウニ申シマスノハ、臺灣ノ
花蓮港ニ近年諸種ノ工業會社ガ、工場ヲ
建テマシテ、其ノ附近デ發電ニ都合ノ好イ
水力ヲ利用シテ、會社ハ自家發電ノ手續ヲ
執リマシタガ、是ハ遂ニ許サレナイデ臺灣

總督府ノ事業デアリマシタカ、又他ノ公共
團體ノ事業デアリマシタカ、兎ニ角會社ノ
自家發電ニ依ッテ、低廉ナル電力ヲ得ルト云
フ計畫ヲ横取りシタモノガアルト云フヤウ
ニ記憶シテ居リマス、從ッテ花蓮港ニ集ク
諸會社ハ、最初原價計算シマシタ自家發電
ニ依ル電力料ヨリモ、隨分高イ電力料ヲ支
拂フコトニナリマシタノデ、事業成績ニモ
影響スル所ガ多イト解シテ居リマス、是ハ
一例デアリマスガ、獎勵金ヲ交付スル方法
ヨリモ、今度ノ合成事業ニ最モ必要ナル電力
ニ付テ便利ヲ與ヘルト云フガ如キ助成方法
ヲ御採用ニナツタ方ガ、國民ノ負擔モ少ク
ナツテ、一層有效ナル助成方法デハナイカト思
ハレマスガ、政府ノ御考ヘハ如何デセウカ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今合成事業
ノ原料デアリマスル石炭並ニ電力ノ問題ニ
付キマシテ、御質疑ガアツタノデゴザイマス
ガ、石炭ノ方面ニ付キマシテハ、有機合成
事業ニハ無煙炭ト有煙炭ト兩方必要ナンデ
ゴザイマスガ、大體滿洲、北支等迄モ入レ
テ考ヘマスレバ、其ノ原料ニ不足スルコト
ハナカラウカト考ヘテ居リマス、電力ノ方
ニ付キマシテハ、御承知ノヤウニ内地ニ於
キマシテハ最早サウ大キナ電力ヲ新シク起
シ得ルト云フコトハ、餘リ期待出來ナイカ
ト考ヘルノデゴザイマスルガ、併シ尙内地
ニ於キマシテモ相當ノ電力資源ハ殘ッテ居
ルヤウニ考ヘマスルシ、尙是モ朝鮮、滿洲
或ハ北支等ヲ考ヘマスレバ、相當豐富ナル電
力資源ガアルノデゴザイマシテ、現ニ鴨綠
江或ハ第二松花江等ノ發電計畫デハ、相當
大キナ發電量ヲ豫想サレテ居リマスルノデ、
此ノ事業ニハ相當多量ノ石炭ト電力トヲ要
スルノデゴザイマスルケレドモ、朝鮮、滿

洲等ヲ入レテ考ヘマスレバ、是等ノ石炭、
電力ニハ事ヲ缺カナイノデハナイカト考ヘ
マス、尙關聯致シマシテ是等ノ事業ハ成ル
ベク自家發電デ行ツタ方ガ宜イデヤナイカ
ト云フ御趣旨デゴザイマシタガ、是ハ私共
モ全ク御同感デゴザイマス、此ノ點ニ付キ
マシテハ關係廳トモ協議ヲ進メマシテ、是
等ノ事業ニハ出來ルダケ自家發電ヲサセマ
シテ、サウシテ安イ電力ヲ使フコトガ出來
マスルヤウニ進メテ參リタイト考ヘテ居ル
次第デゴザイマス

○公爵岩倉具榮君 次ニ有機合成事業ノ發
達ト許可制ノ關係ニ付テ御尋ネ致シマス、
此ノ有機合成事業ハ此ノ法案ノ第三條ニア
リマシヤウニ、許可制トナツテ居リマスガ、
既ニ許可ヲ受ケテ事業ヲ行ツテ居ル有機合
成會社ノ合成方法ヨリモ、後デ更ニ良イ方
法ガ發見サレタトシテ、其ノ後デ發明サレ
タ方法デ會社ノ事業ヲ許可スルト、從前カ
ラヤツテ居リマス合成會社ガ、極端ニ言セマ
スト、競争ニ負ケテ事業ガ不振ニ陥ルト云
フコトガ起ル場合ガアルト思ヒマスガ、其
ノ場合ニ政府ガ後カラ發明サレタ方法ヲ、
事業トシテ許可サレナイト云フコトモ或ハ
起ルノデナイカト存ジマス、サウスルト是
ハ一方ニ於キマシテ新發明ト申シマスカ、
兎ニ角此ノ合成事業ノ技術的ナ發明ヲ阻害
スル結果ガ起ルモノト存ジマス、從ッテ斯ウ
云フ場合ニ許可制ヲ如何ニ實施サレルカト
云フコトガ問題ニナルト思ヒマス、此ノ點
ニ付テ政府ノ御考ヲ承リタイト思ヒマス

全ク御同感デゴザイマシテ、此ノ化學方面ニ
於キマシテハ、將來ドシノ新シイ發明ガ出
テ來ルコトヲ豫想サレマスシ、又我々ハソレ
ヲ期待シテ居ルノデゴザイマシテ、折角出
來タ發明ガ此ノ許可制ノ爲ニ、ソレノ實施
ヲ阻害サレルト云フ風ナコトガアッデハナラ
ナイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、コ、當分
ノ間ハ現在ノ事業會社或ハ今計畫サレテ居
リマスル等ヲ寄セ集メマシテモ到底需要
ニハ充タナイノデアリマスルカラシテ、當分ノ
間ハ新シイ事業ガ起ツテ行ク餘地ハ十分アル
ノデゴザイマス、是ガ大體需要ト供給トガ
「バランス」ガ取レテ來マシタ際ニ、新シイ
發明ガ出來テ來タ時ニドウスルカト云フ問
題ガアルノデゴザイマスガ、是ハ私共トシ
マシテモ出來ルダケ此ノ新規ナ發明ヲ採用
致シマシテ、之ヲ實施シテ行キタイト存ズ
ルノデゴザイマシテ、之ニ依ッテ前カラノ事
業者ガ競争ニ敗レルト云フ風ナ心配ガアル
場合ニハ、場合ニ依ッテハ從來ノ事業者ト、
此ノ新タナ發明トヲ手ヲ組マセマシテ、ヤッ
テ行カセルト云フヤウナ方法モ出來ヤウカ
ト考ヘマスルノデ、此ノ事業法ノ結果、新
シイ發明ガ阻害サレルト云フ風ナコトノナ
イヤウニ、私共ハ十分注意シテ參リタイト
考ヘテ居リマス

○公爵岩倉具榮君 最後ニ輸出向製品ト新
興製品トノ關係ニ付テ御尋致シマス、此ノ
新興合成事業ノ製品ガ輸出向ノ製品トナル
迄ニハ、相當ノ年月ヲ要スルト思ヒマス、
輸出向トシテハ從來ノモノデナケレバナラ
ナイト云フコトニナリマセウ、例ヘバ合成
「ゴム」製品ヨリモ、輸出品トシテハ自然「ゴ
ム」ノ製品デナイト海外市場ヘ賣レナイコト
ニナリマセウ、サウスルト貿易上從來ノ事

業ノ存在ガ必ズ必要デアルト考ヘルノデス
ガ、此ノ事業ガ新興合成事業ノ爲ニ壓迫ヲ
受ケマシテ、延イテハ貿易ノ不振ナル結
果ガ起ラナイカト存ジマス、アウタル
キー「生産ノ爲ニイタリ」デハ合成事業
ヲ獎勵達セシメルト同時ニ、一方ニ於キマ
シテハ輸出ノ爲ノ從來ノ製造ニモ努力シテ、
兩者ノ調節ニ苦心シテ居ルヤウニ聽イデ居
リマスガ、本邦ニ於キマシテハ此ノヤウナ
心配ハアリマセスカ、政府ハ此ノコトニ付
キマシテドノヤウナ調節方法ヲ採用サレマ
セウカ

○子爵大河内正敏君 只今ノ御質問ニ關聯
シタコトダケヲ先ヅ先ニ伺ヒタイト思ヒマス、
岩倉公爵ノ言ハレマシタヤウニ、例ヘバ十
二條ニ於テ獎勵金ヲ交付スルト云フコトガ
アリマスガ、是ハ其ノ事業會社トシテ許可
ヲ得テ居ル會社ノ製品デナケレバ交付サレ
ナイ、事業ヲ營マナイモノニ製品ガ出ル譯
ハナイノダカラ、交付セナイト云フコトニ
モナリマスガ、斯ウ云フ合成事業ノヤウナ
モノハ、試作ノ程度ガ相當長イ、實際其ノ
何ト云ヒマスガ、事業ニナラズマダ試作ヲ
シテ居ル、即チ許可ガ得ラレナイ、サ
ウシテ試作ダケハヤツテ居ルト云フモノガ
相當私ハ今後出來テ來ルト思フ、サウ云フ
モノニ對シテモ同ジヤウナコトデ獎勵金ヲ
交付スルノガ至當デヤナイカ、即チ其ノ出
來タモノノ品質ヲ十分ニ検査シテサウシテ
立派ニ合格シタモノデアルナラバ、必ズシ
モ事業會社ニ限ラズ、事業會社ハ既ニ所得
稅其ノ他ニ於テモ免除ヲ得テ居ル、尙其ノ
上ニ又獎勵金ヲ交付スル、試作ヲヤツテ居ル
モノハ何時迄モ非常ニ苦シマナケレバナラ
ス、ト云フ問題ガ起リハシナイカト云フコ
トヲ憂フルノデゴザイマスガ、此ノ點ハ如
何デアリマセウカ

○政府委員(永田彦太郎君) 其ノ合成品ノ
試作ヲシテ居ル者ニ對スル助成ノ方法ト
致シマシテハ、二十一條ニ「有機合成品ノ
製造ニ關スル研究又ハ試験ヲ爲ス者ニ對
シ獎勵金ヲ交付スル途ヲ拓イテ居リマスル
ノデ、試験研究ト云フ範疇ニ屬スル間ハ、此
ノ方法ニ依ツテ助成ヲ致シテ参リタイト考
ヘテ居ルノデゴザイマス、尙此ノ點ハ三條ノ許
可ヲドノ範圍ノモノニスルカト云フコトニ
モ關聯ガアルカト存ジマスノデ、私共只今

ノ所デハ成ルベク小サナモノデモ、此ノ事
業法ヲ適用致シマシテ、保護ヲ致シテ行キ
タイト、斯ウ考ヘテ居ルノデアリマス、唯
先刻カラモ御話ノゴザイマシタヤウニ、新シ
イ發明者ヲ此ノ許可制ニ依ツテ排斥シテ行
クト云フ風ナコトデハナクテ、成ベク此ノ
事業法ハ小サナ「スケール」ノモノニモ之ヲ
適用シテ、之ヲ助成シテ行クト云フノガ宜
シイノデヤナイカト考ヘテ居リマスノデ、
此ノ二十一條ノ試験研究ニ對スル獎勵金
ト、サウシテ只今ノ十二條ノ生産獎勵金ト、
兩方ノ方法デ試作ノ程度ノモノモ、或ハ又
比較的小サナ「スケール」デ事業ヲ營ンデ行
クモノモ、何レモ助成ヲシテ行ケルノデヤ
ナイカト、斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵大河内正敏君 此ノ小サナモノニ對
シテ今ノヤウナ考慮ヲ政府ガ拂ツテ行クト云
フコトハ、非常ニ結構ナコトデゴザイマシテ、
從來ノ事業法ト全然此ノ點ガ違ッテ居リマ
ス、從來ノ事業法ト一番ノ缺點ハ、大工場ヲ
ミ保護スルト云フ建前デ、全クノ資本事
業ノ保護デアリマス、今度ノハ其ノ點ガ違ッ
テ居ル所ハ非常ニ進歩ダト思ヒマス、例ヘ
バ自動車ノ事業法ニシマシテモ、一年ニ三
千臺以上ヲ造ルモノデナケレバ保護シテヤ
ラナイ、工作機械ニ致シマシテモ、二百臺
造ル、約五百萬圓ノ資本ヲ以テ掛ツテ居ルモ
ノデナケレバ助成シナイト云フヤウナ、非
常ナ資本擁護ノナニデアッタノデアリマス、
デ現ニ工作機械事業法ノ如キ、貴族院ノ此ノ
委員會ニ掛リマシタ時ニ、特ニ此處ニオイ
デニナリマス倉知君カラモ御發議ガアリマ
シテ、希望條件トシテ小工業ヲ援助シテ呉
レ、是等ノ大工場バカリノ擁護ニナツテシ
マツテ、小工場ハ全ク顧ミテ居ラレナイノデ

○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ合成品ヲ
助成シテ參ル結果、輸出向ノ原料ニ迄比較的
ニ「コスト」ノ高イモノヲ使ハセルコトニナッ
テハ、輸出ヲ阻害スルコトニナルノデハナ
イカト云フ、御趣旨ノ御質問デゴザイマシ
タガ、誠ニ御尤モト存ジマス、私共ノ考ヘ
テ居リマスルノハ、此ノ合成事業法ニ依リ
マシテ、差當リ内地ノ需要、殊ニ輸入品ニ
依存シテ居ルコトノ最モ危險デアル國防上
ノ需要、之ヲ充タスト云フコトヲ主眼トシ
テ居リマスルノデ、輸出向ニハ成ルベク「コ
スト」ノ安イモノヲ使ハセル方ガ宜シイノ
デゴザイマスカラ、今御示シノ「ゴム」ノ例
ニ採リマシテモ、輸出品ノ原料トシマシテ
ハ、安イ天然「ゴム」ヲ輸入致シマシテ、之
ヲ使ハセマシテ、安イ輸出品ヲ供給シテ行
クト云フ方法ヲ採ッテ参リタイト思フノデ
ゴザイマス、此ノ合成品ヲ獎勵シタ結果、
輸出ヲ阻害スルト云フ風ナコトノナイヤウ
ニ、十分注意致シテ参リタイト考ヘテ居リ
マス

○公爵岩倉具榮君 大體諒承致シマシタ、
私ノ質問ハ是デ打切りマス

ヤナイカト云フヤウナ、極メテ強イ希望デ
アッタノデアリマスガ、一向商工省デ御取上
ゲニナラナカッタノデアリマス、何故小工場
ノ保護モ必要デアルカト云フト、機械ト云
フヤウナモノハ、丁度此ノ合成事業ト同ジ
ヤウナモノデアル、極ク程度ノ進ンダ機械
工業、合成事業ハ化學工業ノ中ノ一番程度
ノ進ンダモノデアアル、「トップ」ニ……頂上
ニ行ツテ居ル工作機械ハ同ジヤウナモノデ
アリマス爲ニ、唯資本ダケガ大キクテ、
大工場ノ製品ガ、必ズシモ小サナ工場ノ製
品ヨリモ良イトハ言ヘナイ、是ハモウ外國
ニモ澤山ノ例ガアル、ト云フヤウナコトデ、
小工場ノ保護ヲヤラナケレバイカスト云フ
コトノ強イ要望ガアツタノデアリマスガ、
御取上ゲニナラナカッタ、處ガ今度ハ商工省
ガ主催ニナツテ、今展覽會ヲヤツテ居ラレ
ル、其ノ審査ノ模様ヲチヨット私ハ又聞キシ
タノデアリマスガ、ソレニ依リマス、從來大
キナ工場ノ製品ヨリ、却テ無名ノ工場ノ製
品ノ方が優レテ居ルト云フ審査ノ結果ニ
ナツテ居ル、是ハ工作機械事業法ガ出デ二
三年ノ後ニ發達シタト云フヤウナ見解モ出
來マスケレドモ、決シテサウデハナイ、ア
ノ事業法ヲ立案サレテ居ル當時ニ、モウ其
ノ工場ノ、小サイケレドモ非常ナ良イ精密
ナ機械ヲ作り得ル工場ガアツタノデアリマ
ス、ソレガ取殘サレテ居ッタト云フダケノ問
題デアリマス、是ハモウ實績ニ於テ如何ニ
資本ダケハ立派ナモノガ出來ナイト云フ
コトガ證明サレテ居ル、今度ノ此ノ事業ニ
於テモ一ツ能ク御考慮ヲ願ッテ、又十分ニ御
考慮ヲ拂ッテオイデニナルト云フコトハ非常
ニ結構ナコトデアリマス、此ノ點ハ何處迄
モ一ツ此ノ事業法ノ根本精神トシテ御考ヘ

ヲ願フテ置キタイト思ヒマス、ソレカラ次ニ極ク全體ノ問題トシマシテ、低物價政策ト云フコトモゴザイマスケレドモ、ドウシテモハ斯ウ云フヤウナモノヲ國內ニ不遍的ニ、不公平ナシニ助成ヲシテ行クト云フノニハ、關稅政策ニ依ルノガ一番宜イト云フコトヲ考ヘルノデアリマシテ、無論低物價政策ノ今日デゴザイマスカラ、關稅政策ト云フコトハ考ヘラレナイ、無理カモ知レマセス、併シ稅ノ爲ニハ物價ヲ上ゲルト云フコトハ、大藏省ハ既ニ御自分デヤッテオイデニナル、煙草ノ値上ガ是デアアル、是ハ稅ヲ上ゲル爲ニ値上ヲシタト云フノナラバ、關稅收入ヲ上ゲル爲ニ關稅ヲ上ゲルト云フコトガナゼ今日ノ國家經濟ノ上ニ惡イノデアリマスカ、サウシテ其ノ結果ドウナルカト云フト、一般ノ人ガ決シテ高物價ノ爲ニ惱マサレルト云フ問題デナクッテ、殊ニ此ノ合成事業ノ如キハホンノ一部分ノモノデアリマスカラ、全體ノ物價ガ上ルト云フコトモナリマセシ、又現ニ輸入シツ、アルノデアリマスカラ、國家ノ收入カラ言ッテモ收入ガ増ス、今日色々ナ稅ヲ上ゲテ國庫ノ收入ヲ増サナケレバナラスト云フ時代ニ於テ、斯ウ云フ國防上ニモ、産業上ニモ必要ナモノノ關稅ヲ其ノ儘ニシテ置クト云フコトハ、私ハドウシテモ考ヘラレナイノデアリマス、從來ハ關稅ニ依ッテ國內ノ産業ヲ保護シヨウトスルト、何時デモ外務省ガ反對ヲシマシテ、報復關稅ヲ置クトカ、或ハ國交上面白クナイト云フヤウナ議論ガ出ルノデアリマスガ、是ハ如何ニモ所謂獨自ノ外交デナイ、所謂世間デ攻撃スル所ノ歐米ノ鼻息ヲ窺ッテ居ル政策デアリマス、或ハ第一次ノ「ヨーロッパ」戰以前ノ政策デアリ

マス、第一次「ヨーロッパ」戰以後ニ於テハ、アレダケノ自由貿易ヲ唱ヘテ居ル「イギリス」ガ關稅ヲ上ゲテシマツタ、經濟戰ニナリマシテ、何處ノ國モ關稅障壁ニ依ッテ自國ノ産業ヲ保護シ、且自給自足主義ヲ確立シテ居ル今日、報復關稅云々トカ、或ハ國交ノ問題ナドヲ顧慮シテ、關稅ヲ上ゲルト云フコトハ、トシテモナイ間違ヒダト思フノデアリマス、「アメリカ」ノ如キ傍若無人ノ關稅政策ヲ執ッテ居ル、其ノ爲ニ「アメリカ」ノ工業ト云フモノガアレダケニ急激ニ進歩シテ來タ、例ヘバ鋳力デスガ、鋳力ハ全部「イギリス」カラ輸入シテ居ッタヤツヲ、非常ナ關稅ヲ上ゲマシテ、サウシテ今デハ鋳力工業ト云フモノハ、「イギリス」ニ迄「アメリカ」ガ輸出シテ居ル位ニ盛大ナモノニナツテシマヒマシタ、或ハ航空機ガ發達シテ來ルト云フト、航空機ノ工業ト云フモノガ、是ハドウシテモ「アメリカ」ガ世界「リード」シナケレバナラス、ソレニハ金屬「マグネシウム」ガ必要デ、金屬「マグネシウム」ガドウシテモ國內デ生産サレナケレバ、航空機工業ハ盛ニナラナイト云フコトヲ考ヘルト云フト、非常ナ關稅ヲ上ゲテシマイマシタ、ドウ位ノ關稅カト云フト、今日ノ「アメリカ」ノ關稅ガ「マグネシウム」ノ國內ノ市價ヨリモ高イ、高クテ持ッテ行ッテモ「アメリカ」ヘハ入ラナイ、其ノ位ノ傍若無人ノ關稅政策ヲ採ッテ、サウシテ「マグネシウム」工業ハ「ドイツ」ノ次ニ盛ニナツテ參リマシタ、今日澤山出來テ居ルニ拘ラズ、マダ關稅ハ其ノ儘ニナツテ居ル、「ドイツ」ハコレダケ合成事業ニ卓越シテ居ル、硫酸ノ製造ノ如キハ世界デ一番初メニ成功シ、又一番「コスト」ガ安ク

出來テ居ル事業デアアル、ソレニ拘ラズ關稅ヲ上ゲテ居ル 今自分ノ所ニ輸入ガナイニ拘ラズ、戰後デアリマシタカ、關稅ヲ上ゲマシテ 國內ノ硫酸工業ト云フモノハ、何處迄モ國家ニ必要ナモノダカラ 保護スルゾト云フ見地カラシテ 斷乎トシテ關稅ヲ上ゲテ居リマス、或ハ先日モ申上ゲマシタ如ク「ガソリン」ガ必要ダト云フコトデ而シテ此ノ「ガソリン」合成事業ヲ發達サセヨウト云フ爲ニハ、日本ノ「ガソリン」ノ市價ヨリモ三倍ノ値段ニナル迄關稅ヲ上ゲテシマツテ居ル、之ガ産業ノ生産ヲ擴充スルト云フ上ニ於テ一番良イ方法デアリ 最モ産業ガ不公平ナシニ 極ク公平ニ發展スル基デアアル、今日此ノ時局デ低物價政策ト云フコトモアリマスケレドモ、併シハ國ノ存亡ト云フコトカラ考ヘマシテ、必要ナ産業ナラソレハ低物價政策デモ何デモ私ハ關稅ヲ引上ゲナケレバナラスト思ヒマス、殊ニ煙草ノ値上ヲシテ稅ヲ上ゲルナラ差支ナイト云フ政府ノ見解デアアル以上ハ、ドウシテモ斯ウ云フモノニ對シテ、此ノ事業法ト相俟ッテ私ハ關稅ヲ上ゲルト云フコトガ必要デハナイカ、今日ハ報復關稅トカ、國交問題ナドヲ云々シテ居ル時機デハナイト思フノデアリマス、其ノ點ニ付テ政府ノ御考ヲ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(加藤鐵五郎君) 全ク大河内子爵ノ御説ニ同感デゴザイマシテ、其ノ通りデアルト思フノデアリマス、私自身カラ考ヘマシテモサウ云フ氣持ヲ持ッテ居ルノデアリマシテ、大イニ鉄鐵ノ輸入關稅ヲ引上ゲ、或ハ農村ニ於テ非常ナ非難モアッタノデアリマスルガ、硫酸事業ノ確立ヲスル迄之ヲ全力ヲ擧ゲテ關稅ヲ確立スルヤウニ防イデ、今日ノ此ノ硫酸ガ隆盛ニナッタヤウニ存ジテ居ルノデアリマシテ、殊ニ此ノ有機合成事業ノ確立ヲ助クルニハ、相當ナ高率ノ關稅ヲ以テ此ノ確立ヲ妨グルモノ、物品ノ輸入ヲ防止スルト云フコトハ、當然ノコトデアアルノデアリマシテ、第三十二條ニハ輸入ノ制限ヲスル、或ハ二十三條ニ於キマシテハ現行法ノ關稅ノ外ニ、其ノ物品ノ價格ノ五割迄更ニ之ヲ殖スト云フコトニ相成ッテ居ルノデアリマシテ、全ク大河内子爵ノ御意見ト政府ハ同感デアアルノデゴザイマス

○政府委員(秋元順調君) 只今加藤商工政務次官カラ御答ヘ致シマシタノデゴザイマスガ、大藏省ノ方ノ政府委員ト致シマシテ、非常ニ大河内子爵ノ御質問ハ廣汎且重要ナル問題デゴザイマスノデ、一應御答ヘ申上ゲテ置キマス、只今御述ニナリマシタヤウニ、現在ノ日本ノ執ッテ居リマスヤウナ自給自足的ノ經濟ヲ目標ト致シマシテ、生産力擴充ヲ遂行シテ行クト云フヤウナ場合ニ於キマシテハ、關稅政策ガ非常ニ重要ナル役目ヲ持ッテ居ルト云フコトハ、誠ニ御示シノ通りデアルト存ジマス、我々ト致シマシテモ、唯低物價政策ノミニ捉レテ考ヘテ居ル積リデハ決シテナイノデゴザイマス、鐵鐵即チ揮發油等ニ關シマス御話モ出マシタノデゴザイマス、是ハ少シ廻リマスガ、御承知ノ如ク昭和十二年ニ相當規模ノ關稅ノ改正ヲ致シマシタ、其ノ際ニハ只今申シマシタヤウナ生産擴充ノ遂行ト云ッタヤウナ趣旨カラ致シマシテ、主トシテ上ゲマシタモノハ自動車ノ關稅、ソレカラ鐵油ノ揮發油原油、重油等ヲ含メマス鐵油ノ關稅、大キナ品目ハ此ノ二品目デゴザイマシタガ、之ヲ相當程度大幅ニ引上ゲ致シマシタ、ソレハ全ク生産力ヲ擴充シテ、自

給自足經濟ヲ振興サシテ行クト云フヤウナ意味カラ致シタ譯デゴザイマス、此ノ有機合成事業ニ對シマシテハ、只今商工省政務次官カラ御答ヘ申シマシタ通り、臨機ノ措置ト致シマシテ、輸入品ニ對シテ關稅ヲ増課シ得ルト云フ規定ヲ法文ニモ設ケタノデゴザイマス、尙將來ノコトニ付テモ、永續的ニ關稅ノ保護ヲ必要トスルノデハアルマイカト云フヤウナ御説ノヤウニ拜承致シタノデアリマスガ、此ノ有機合成事業ト申シテ居リマスモノノ中ニ、實ハ相當滿洲國デ生産ヲ豫定サレテ居ルモノモアルノデゴザイマシテ、ソコニ又關稅政策上カラ申シマシテ、日滿支ノ間ヲドウスルカト云フ大キイ問題ニ關聯ガ深イノデゴザイマス、滿洲デ生産サレマシタモノノ日本ヘノ輸入ニ對スル關稅ヲドウスルカ、或ハ特惠關稅ト云フヤウナ制度ヲ考ヘルカドウカト云フコトハ、政府ト致シマシテモ研究ヲ重ネテ來テ居リマスノデゴザイマスガ、マダ何レトモ決定スル時期ニ至ツテ居ラナイノデゴザイマス、ソレ等ノ將來ノ日滿支間ノ關稅政策ト云フヤウナ問題ト合セマシテ、關稅政策ト致シマシテモ、斯ウ云フ事業ニ對シマシテハ、出來ルダケ適當ナル保護ヲ與ヘ得ルヤウニ考ヘテ參リタイ、斯様ニ考ヘテ居リマス

○政府委員(永田彦太郎君) 只今ノ大河内子爵ノ御質疑ニ關聯シマシテ、チヨット私カラモウ一ツ補足サシテ戴キタイト思ヒマス、此ノ新規ナ事業ガ興リマシタ場合ニ、之ガ外國品トノ競争ニ耐ヘテ行カセル爲ニ、ドウ云フ方法ヲ執ツラ宜イカト云フ問題ニ付キマシテ、私共モ研究シテ見タノデアリマスガ、チヨット考ヘテ見マス、只今御示シノ關稅ノ保護ニ依ルモノト、ソレカラ此ノ法案ニ於テ採用シヨウト致シテ居リマスル生産獎勵金ヲ出ス方法ト、モウ一ツハ國內モノハ高ク買上ゲテ、之ヲ外國カラ入ッテ來ル安イ輸入品ト「プール」ニシテ、サウシテ之ヲ需要者ニ買ッテ貰フト云フ方法トガアラウカト考ヘルノデアリマシテ、此ノ法案ニ於キマシテハ、差當リ生産獎勵金ノ方法ト、ソレカラ必要アル場合ニハ、關稅ヲ上ゲラレルト云フ方法トヲ規定致シテ居ルノデゴザイマスガ、實ハ此ノ有機合成事業ガモウ少シ振興シテ參リマスルト、是ハドウシテモ民間ノ資金ダケデハナカ／＼思フヤウニ行カナイノデヤナイカト云フ風ニ考ヘマシテ、場合ニ依リマシテハ、政府ガ出資ラシタ投資會社ノヤウナモノモ必要デヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマスガ、若シサウ云フ風ナモノガ實現シテ參リマスル場合ニハ、總テ出來マシタモノハソレ等ノ一ツノ機關ニ賣ラセマシテ、サウシテ輸入品ト「プール」サセテ、其處カラ供給シテ行クト云フ風ナ方法ヲ考ヘラレノデハナカラウカト云フ考ヲ持ツ居リマスガ、是ハ只今ノ所デハ此ノ有機合成品トシマシテ、外國品ト競争スルノガムツカシイト云フ品物ガマダ比較的小イモノデアリマスルカラシテ、其處迄進ンデ居リマセヌガ、若シ將來必要ガアレバ、場合ニ依ツテハサウ云フ風ナコトモ考ヘテ見ルノガ宜シカラウカト考ヘテ居リマスノデ、チヨット補足シテ申上ゲテ置ク次第デアリマス

○子爵大河内正敏君 關稅ニ關スル政府ノ御所見ヲ伺ヒマシテ、私非常ニ感謝致シマス、唯此ノ二三條ノ規定ニ依リマスルト、市價ノ低落ト云フコトガ特ニ謳ッテゴザイマスノデ、私ハ市價ノ低落ナドト云フヤウナ問題ヲ願慮スルコトナシニ、關稅ハ相當ニ上ゲテ宜イノデヤナイカト云フ意見ヲ持ッテ居リマスガ、其ノ點ハ唯意見ダケニ止メテ置キタイト思ヒマス、次ニ伺ヒタイノハ、合成事業ト工業立地ノ問題デアリマス、是ガナカ／＼合成事業デハムツカシイ問題デアッテ、許可會社ニシテ相當ノ保護ヲ加ヘテヤラウト云フ會社ハ、餘程此ノ立地問題ガウマク選定サレテ居リマセヌト、他ノ條件ガ具備シテ居ッテモ、生産費ガ高クナルト云フ虞ガアルノデアリマス、從來ノ事業法デ立地ガ一番問題ニサレタノガマア製鐵事業法デアリマスケレドモ、併シハ製鐵事業ガ許可サレル時ニ、立地ト云フコトハ餘リ考ヘラレズ、買收ノ形デ合併ヲサレルト云フ場合ニ、其ノ評價ノ上ニ主トシテ現ハレタ問題デアッタノデアリマスガ、合成事業ハ非常ニ此ノ立地問題ガ大事ナモノデアリマス、例ヘバ電力ノ安イ所ヘ行クカ、或ハ其ノ事業ニ依ッテハ石炭ノ安イ所ヘ行ク、又石炭ト云フ問題ニナリマシテモ、從來ノヤウナ石炭ガ適當デアルカ、或ハ從來ハ燃料トシテハ殆ド價值ガ無イヤウニ思ハレテ居ッタ褐炭デアルトカ、或ハ亞炭ノヤウナモノ、ソレガ合成事業ニハ却テ宜イト云フヤウナコトモゴザイマス、今日電力ガ不足ノ時ニ、其ノ原因ハ何ニ在ルカト云フト、石炭ノ不足ニ在ル、而シテ石炭ノ足りナイ所ヘ、從來火力發電ニ使ハレテ居ッタダケノ良イ石炭ガ配給サレナイ、詰リ「カローリ」ノ高イ石炭ガ配給サレズニ、惡イ炭ガ來タカラ、思フヤウニ電力ガ出ナイト云フヤウナコトガ、主ナ原因デアルト云ハレテ居ルノデアリマスガ、從來ノ惡イ炭トシテ排斥サレテ居ッタモノガ、合成事業ニハ又工合ノ好イ炭

ガアルノデアリマシテ、現ニ「ドイツ」ノ褐炭ノ如キハ其ノ一例デアリマス、日本ニモ此ノ種ノ石炭モアリマスシ、又亞炭ノ如キモ合成事業ニ今後相當ニ使ハレテ來ルト思ヒマス、デアリマスカラ此ノ立地問題ヲ考ヘ、同時ニソレニ使ヒマス石炭ト云フコトヲ考ヘテ、或ハ是ハ場合ニ依ッテハ發電ニ必要ナ石炭、適當シタ石炭デ、合成事業ニハ餘リ向カナイ石炭ハ、使用ヲ禁止スルト云フコトモ宜シ、又命令ニ依ッテ斯ウ云フ炭デヤレト云フコトモアリ得ルト思ヒマス、益々立地問題ガ面倒ニナツテ來ルト思ヒマスガ、此ノ點ニ付キマシテ、政府ハドウ御考ヘニナツテ居リマスカ、ソコヲ一ツ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(永田彦太郎君) 只今合成事業ノ立地問題ニ付テ御質疑ガゴザイマシタノデアリマスガ、仰セノ如ク此ノ事業ニハ非常ニ多クノ石炭ト電力トヲ要シマスルノデ、此ノ事業ヲ大規模ニ實施シマス場合ニハ、是等ノ關係ヲ十分考慮シテ參ラナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデゴザイマス、先程モ申上ゲマシタヤウニ、内地ニハ是等ノ事業ヲ養ッテ參リマスダケノ電力資源ガ得ラレルカドウカ、疑問デヤナイカトモ考ヘテ居リマスルノデ、差當リノ所ハ試驗程度ノ工場ハ是ハ内地デヤリマシテ、愈々之ヲ大規模ニ實施スル場合ニハ、朝鮮デアリマスルカ、滿洲デアリマスルカト云フ所ニ工場ヲ置イテ行クト云フコトガ必要デヤナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス、尙ソレ等ノ點ハ將來十分研究ヲ致シマシテ、是モ經濟的ニ事業ガ出來マスルヤウナ場所ヲ選ンデ參リタイト、斯ウ考ヘテ居リマス

○子爵大河内正敏君 次ニ合成事業ニ對ス

ル研究ノ問題デゴザイマスガ、今日ハ合成化學ヲ研究シヨウトスル試薬ノ配給ガ非常ニ困難ナノデアリマス、例ヘバ沃度デアルトカ、「クロム」デアリマス「アルカリ」デアルトカ、純度ノ高いモノガ殆ド得ラレナイノデアリマス、マア從來ハ「ドイツ」カラ輸入シタモノヲ使ツタリ何カシテ居リマシタガ、是モ入ラナクナルシ、サウ云フヤウナ合成化學研究用ノ試薬ニ對シテハ配給ハ商工省ノ方デ多少御考慮ヲ願フテ居ルノデゴザイマセウカ、其ノ點ヲ伺ヒタイ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今研究用ノ試薬ノ配給ニ付キマシテ御質問ガゴザイマシタノデアリマスガ、商工省トシマシテハ、研究用ノ試薬其ノ他ノ材料ニ付キマシテハ、優先的ニ之ヲ配給スルヤウニ努メテ居ルノデアリマスガ、何分ニモ全體ノ數量ガ少イモノデアリマスカラ、ナカ／＼思フヤウニ配給ガ出来マセヌデ、方々ニ御迷惑ヲ掛ケテ居ルコトト恐縮ニ存ジテ居ル次第デアリマスガ、研究用ノ材料ノ必要デアリマスルコトハ、十分認識シテ居リマスノデ、出来ルダケノ努力ハ致ス積リデ居リマス

○子爵大河内正敏君 モウ一ツ承リタイノデスガ、矢張り研究ニ關シタ問題デアリマシテ、今日ノ狀況デゴザイマス、先ヅ軍事關係ノ研究ニ使ハレル資材或ハ今ノ試薬ト云フヤウナモノハ、是ハ大體配給ガアルノデゴザイマスガ、併シ一般ノ研究デ以テ、マルデ軍事關係ニ必要ガナイト思ハレテ居ル研究カラ、其ノ副産物デ良イ研究ガ出テ來ルノデヤナイカ、色々ナ研究ヲヤツテ居リマス上ニ、之ガ何ノ役ニ立ツカト云フコトハチヨット氣ガ付カズニ、唯純學術的ノ研究ヲヤツテ居ル内ニ、ソレガ副産物トシテ軍事

上非常ニ必要ナモノガ出來ルト云フヤウナコトガ始終アルノデス、之ニ對シテ今ノ合成化學ノ研究ニ對スル試薬ノ配給ハ無論デアリマスルガ、同時ニ一般ノ化學研究ト云フヤウナモノニ對シテ、ドンナ副産物ガ出來ルモノデアルカハ豫メ豫知出來ナイモノデアリマスルケレドモ、併シ今日ノ大發明ハ皆此ノ副産物デ出デ居ルモノガ大部分アルト云フ關係カラシテ、此ノ研究資材ト云フモノニ對シテハ、商工省ガ御配慮ヲ願ヒタイト思ヒマス、此ノ點ヲ一ツ併セテ御聽キシタイノデアリマス

○政府委員(永田彦太郎君) 只今御述ノ點ハ、誠ニ御尤モデアリマスノデ、私共トシマシテハ出來ルダケノ努力致シタイト思ッテ居リマス

○子爵大河内正敏君 終リマシタ

○倉知鐵吉君 御配付ノ有機合成事業法施行令要綱案、之ニ付テ申上ゲマス、其ノ第一要綱ニ、合成品ヲ三ツニ分ケマシテ、「アセチレン」、水素及一酸化炭素、「タンニン」ノ三ツニ分ケテゴザイマスガ、私共餘リ專門ノコトハ詳シク存ジマセヌガ、染料ノ中「インダンスレン」系ノモノモ此ノ三種ト同ジク保護ヲ要スルノデヤナイカト云フ議論ガアルノデゴザイマスルガ、此ノ染料ハ三ツノ中ニ入ッテ居ナイノデアリマスカ、居ナケレバドウ云フ譯デ入ッテ居ナイノデアリマスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今御示シノ染料ハ一應此ノ案ノ中ニ入ッテ居リマセヌノデゴザイマスガ、此ノ點ニ付キマシテハ、實ハ私共ノ方デ今研究ヲ致シテ居リマスノデ、若シ必要ガアレバ入レテ參リタイト斯ウ考ヘテ居リマス、此ノ案ヲ作リマシタ時

ニハ入ッテ居リマセヌノデゴザイマス

○倉知鐵吉君 サウシマス法律ハ此ノ儘ニシテ置イテ、施行令ノ中ニ之ヲ御入レニナラウカナナイカト云フコトヲ御研究ニナツテ居ルト、斯ウ云フ譯デスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 左様デゴザイマス

○倉知鐵吉君 今ノ問題ハ是非一ツ能ク御研究願ヒタイト思ヒマス、當業者ノ希望ハナカ／＼切實ノヤウニ考ヘマスカラ、能ク御考ヘ願ヒタイト思ヒマス、次ハ此ノ要綱ノハデゴザイマス「輸入税ノ免除ヲ受クルコトヲ得ベキ事業及期間ハ左ノ通トスルコト」トナツテ居リマス、之ニ合成樹脂ニ關スルコトガ書イテナイノハ、是ハドウ云フ譯デスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ十條ノ規定ヲ適用致シマスルノハ、最モ重要ナルモノニ限ルト云フ趣旨デ居リマスルノデ、差當リ合成「ゴム」ト合成「トルオール」トヲ對象ト致ス積リデ居ルノデアリマス、將來尙合成樹脂ニ付テモ必要ガ起ッテ參リマスレバ、入レテ參リタイト思ヒマスガ、只今ノ處デハ合成樹脂ノ方ハコ、迄ヤラヌデモ、其ノ發達ガ期待出來ルノデハナイカト、斯ク考ヘテ居ル次第デアリマス

○倉知鐵吉君 先刻大河内子爵ノ御話ニナツタ通り、此ノ合成法ハ小サイ工業モ保護シテ居ルト云フ所ニ特色ガアルヤウニ思ヒマスガ、其ノ意味カラ言ヒマス、要綱ノ第六デス、事業ノ規模ヲ規程シテ居ル(一)、「何レモ五百」トナツテ居リマスガ、是ハ少シ大キ過ぎヤシマセヌデセウカ、小サイ工業ヲ保護スルト云フコトデアリマスレ

バ、モウ少シ二百「トン」カ二百「トン」カ程度迄御下ゲニナツテモ宜イデヤナイカト思ヒマスガ、如何ナモノデアリマスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今御示ノ要綱ノ六項ハ是ハ第七條、第一項ノ規定ニ依リマシテ、新增設ヲシマス場合ノ規定ナンデアリマシテ、小サイモノ迄モ此ノ法律デ保護シテ參リタイト申上ゲマシタノハ、此ノ法案ノ第二條ノ關係デ「有機合成事業ヲ營マントスル者ハ政府ノ許可ヲ受クベシ但シ勅令ヲ以テ定ムル有機合成事業ニ付テハ此ノ限ニ在ラズ」、斯ウ規定致シテ居リマス、此ノ但書ノ場合ナンデアリマスルガ、是ハ要綱ノ第二項ヲ御覽願ヒマスルト、「有機合成事業法第三條第一項但書ノ規定ニ依リ許可ヲ受クルヲ要セザルモノハ試驗研究程度ノモノニ限ルトスルコト」、斯ウ致シマシテ、苟クモ事業ヲ營マムト云フ程度ニナリマシタモノハ、小サイモノデモ第三條ノ許可ヲシテ行ク、從ッテ此ノ法案ノ保護ハ受ケル、唯此ノ法案ノ中デ第七條、ソレカラ第十條、是ハ指定有機合成事業ト致シマシテ、特ニ重要ナモノダケヲ保護致シタイト斯ウ考ヘテ居リマスノデアリマス、此ノ保護ハ受ケ得ナイモノモゴザイマスルガ、其他ノ保護ハ小サナモノデモ、三條ノ許可ヲ得タルモノハ保護ヲ受ケ得ルト斯ウ云フコトニナル譯デアリマス

○倉知鐵吉君 ソレハ能ク了解シテ居ルノデスガ、此ノ七條及ビ十條ノ保護ヲ小サイモノニ均霑サシテハドウカト云フコトヲ御尋ネシタノデス

○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ七條及ビ十條ノ品目ニ依ッテ限定致シマシタノデ、差當リ此ノ合成「ゴム」ト合成「トルオール」ト

考ヘテ居ルノデアリマス、是等ノ事業ヲ營
ミマス者ハ、小サイモノデモ保護シテ行
ク、唯品目ヲ餘リ多ク致シマスルコトハ、
實ハハ特殊ノ保護規定デアリマスモノデ、
餘リ擴ゲルコトハ喜バレナイ場合モアリマ
スノデ……

○倉知鐵吉君 少シ違ヒマスヨ、私ノ御尋
トハ……

○政府委員(永田彦太郎君) 其ノ御趣旨
ハ、是ハ全部七條、十條ノ保護ヲシタラ宜
イデヤナイカト云フ……

○倉知鐵吉君 サウデハナイノデス、五百
「トン」ニシナクテモ宜イデヤナイカ、三百

「トン」カ二百「トン」ニシタラドウカ、要綱ニ
五百「トン」ト書イテアリマスカラ、御尋ネ
シタノデス、ソレハ餘程違ヒマス

○政府委員(永田彦太郎君) サウデスカ、
ソレハハチヨット誤解致シテ居リマシタ、大體
此ノ合成「ゴム」ソレカラ合成「トルオール」、
是等ノモノノ事業ヲヤツテ参リマスルノニ
ハ、年産五百「トン」位ガ經濟單位デヤナイ
カト、斯ウ云フ風ニ考ヘマシテ、一應是等
ノ單位以上ノモノヲ保護シテ行クト斯ウ云
フ風ニ考ヘタノデゴザイマス

○倉知鐵吉君 是ハ要綱デマダ確定シテ居
ナイノデアリマスカラ、今ノ問題ハモウ少シ御研
究ニナツテ、モウ少シ小サイモノデモ、七條、
十條ノ利益ヲ受ケルヤウニ御考ヘ下サル方
ガ結構ダト思ヒマス、法律ハ變ヘナクテモ施
行令デ御話ノ通りノコトガ出來ル譯デアリ
マスカラ、其ノ方デ御考ニナリタイト思フ
ノデアリマス、ソレカラ次ニ十條ノ機械器具
ト云フコトデアリマス、此ノ機械器具ノコト
ニ付キマシテハ、施行令要綱ノ九條ニゴザイ
マスガ、商工大臣ガ之ヲ指定サレルヤウニ

ナツテ居リマス、諸此ノ機械器具ト云フ言葉
ノ範圍デスガ、直接ニ製造ノ機械器具モ
アリマセウシ、モット間接ニソレヲ實行スル
ニ付テ色々ナモノガ、岸山必要ナモノガ出
テ來ルノデス、直接ノ工場ノ機械ソレ自身
デハアリマセヌケレドモ、技術ノ試験ヲス
ルニ付テモ必要ナモノトカ、色々ノモノガ
出テ來ルノデアリマスガ、ソレハドウ云フ
コトニナリマスカ、工場ニ直接必要アルモ
ノデナケレバ輸入税ハ免除シナイト云フノ
デアリマスカ、此處ノ所ヲ一ツ伺ヒタイ

○政府委員(秋元順朝君) 只今ノ御尋ハ、
極ク大體ノコトヲ申上ゲマス、直接其ノ
製造ニ必要ナルモノ、ソレカラ其ノ附屬
裝置ノ範圍ニアルモノ、例ヘバ發電機「ボイ
ラー」等ヲ其ノ工業全般ノ用ノ爲ニ設置シ
テ居ルト云フヤウナ場合モゴザイマスシ、
其ノ場合ニハ、發電機トカ「ボイラー」ト云
フヤウナモノ迄ハ含マナイト斯ウ云フ趣旨
デゴザイマス

○倉知鐵吉君 此ノ十條五條共、此ノ要綱
案ニ依リマス、免除期間ハ五年ノヤウデ
ゴザイマスガ、五年デモ少シ短カ過ぎハシ
ナイカト云フ氣ガシマスガ、是ハドウシテ
モ五年ヨリハ延バサヌ積リデアアルノデス
カ、一ツノモノハ法律ニ依リマスガ、一ツ
ノモノハ要綱御決メニナツタラ宜イノデ
アリマスカラ、能ク其處ノ所ヲ御考ニナツ
テ、五年デモ少シ短イノデハナイカト思ヒ
マス

○政府委員(永田彦太郎君) 御話ノ點御尤
モト存ジマスケレドモ、私共此ノ法案ヲ施
行シテ参リマス方カラ申シマスルト成ルベ
ク之ヲ長クシテ保護ヲ加ヘテ行キタイト云
フ氣持ヲ持ッテ居ルノデアリマスガ、他ノ方

面ニモ關係ガゴザイマスルノデ、一應此ノ
五年ト云フ所ヲ考ヘテ居ルノデアリマス、若
シ將來ドウシテモソレデハイケナイト云フ
風ナ場合ニハ、之ヲ延バシテ行クト云フコ
トモ考ヘナケレバナラヌデヤナイカト斯ウ
考ヘテ居リマス

○倉知鐵吉君 モウ一點御伺ヒシタイノデ
スガ、技術家ノ拂底ノ今日此ノ事業ヲ實行
シヨウトシマスニハ、技術家ノ配給ニ付テ
何カ特ニ配慮ヲシナケレバ、普通ノコトデハ
技術家ヲ得ルコトハ困難デナイカト思ヒマ
スガ、ソレニ付テ厚生省其ノ他ノ行政廳ト
御了解ガアルノデアリマスカ、其ノ邊ニ付
テ承リタイ

○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ事業ヲ
愈々實施シテ参リマス場合ニハ、是ハ生産
力擴充品目ノ中ニ加ヘテ参リタイト斯ウ考
ヘテ居リマス、ソレカラ尙其處迄参リマセ
ヌデモ、大體ソレニ準ズルモノトシテ取扱
フコトニ付キマシテ、關係方面ト了解濟ミ
デゴザイマス、從ヒマシテ生産力擴充品目
ト同様ニ資材及ビ勞力等モ之ニハ優先的ニ
配給ヲ受ケルコトニナツテ居リマス

○倉知鐵吉君 私ハ宜シウゴザイマス
○委員長(子爵保科正昭君) 安場男爵
○男爵安場保健君 私ハ今ノ有機合成事業
法施行令要綱案ノ第十四ニ掲ゲテアリマス
「左ニ掲グル事項ニ付テハ有機合成事業委
員會ノ議ニ付セザルコトヲ得ルモノトスル
コト」ト云ウテ各種ノ品目ニ付テ「リミット」
ガ出テ居リマスガ、此ノ「リミット」ヲ御決
メニナツタ目安ハ何處ニアルノデアリマス
カ

致シマシテ、ソレ以下ノモノハ一々委員會
ヲ御煩シシナイデヤツテ行カウト、斯ウ考ヘ
マシタ次第デゴザイマス

○男爵安場保健君 此處ニ舉ゲテアリマスモ
ノハ相當増加シテモ未ダ「當分ハ足ラナ
イモノ」バカリノヤウデスガ、是位ノ程度
デ、モウ少シ餘計ノモノ迄御許ニナツテ宜
イデヤナイカト思ヒマスガ、其ノ御話ノ目
標ガ是ハ意見ニナリマスケレドモ、モウ少
シ大キクナスタ方宜クハナイカト思ヒ
マスガ、如何デスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 是以下ノモノ
モ勿論許シテ参ルノデゴザイマス、許シマ
ス時ニ委員會ノ審議ヲ經マスカ、經マセヌ
カト云フ標準ニ之ヲ取りマシタノデゴザイ
マス、之ヨリ上ノモノヲ許シマス時ニ委員
會ノ御審議ヲ經マシテ、ソレカラ以下ノモ
ノハ一々委員會ノ御審議ヲ經ナイデ許シテ
参ルト、斯ウ云フ標準ニ致シタノデゴザイ
マス

○男爵安場保健君 サウスルト是ガ市價ニ
影響ガアルトカ、ナイトカ云フコトハ殆ド
考慮ノ外ニナツテ居ル譯デスカ、市價ニ影響
ガアルカラ取締ルト云フノデスカ、委員會
ノ議ニ掛ケルト云フノデスカ、或ハサウデ
ヤナク餘リ大キナ機械ダッタチヨット他ノ
生産力擴充トカ、何トカ云フモノニ影響モ
及ブダラウカラ、是位以下ノ程度ノモノデ
アレバ相談シナクテモ宜イト云フ譯ナンデ
スカ

○政府委員(永田彦太郎君) 大キナモノヲ
許シマス時ニハ、慎重ニ考慮シタイト云フ
ノデ、此ノ委員會ノ御審議ヲ經ルコトニ致
シマスノデス、ソレカラ以下ノ小サイモノ
ハ、政府ダケデ判斷シマシテモ大シテ誤ハ

ナイカト、斯ウ考ヘマシテ、委員會ニハ付議シナイコトニ致シテ參ル積リゴザイマス、尙數ヲ申シマシタノハ速記録カラ其ノ所ダケハ抜イテ戴キタウゴザイマスガ……

○委員長(子爵保科正昭君) 諸君ニ御諮リ致シマスガ、只今化學局長カラノ御要求ガアリマシタノデ、速記ヨリ取去ル部分ガアルサウデゴザイマスガ、委員長ニ於テ適當ニ取計ラヒマシテ宜シウゴザイマスガ、御諮リ致シマス

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵保科正昭君) 御異議ナイト考ヘマス、安場男爵ハソレデ終リデスカ

○男爵安場保健君 濟ミマシタ

○男爵伊藤一郎君 今ノ問題ニ關聯シマシテ、今ノ委員會ニ掛ケル數量ガ非常ニ少ナイヤウニ思ヒマスガ、モウ少シ限度ヲ上ゲテ戴イテ、始終其ノ委員會ニ掛ケナケレバナラナイト云フコトヲ止メラレタラドウカト思ヒマス、ソレカラモウ一ツ、先ノ倉知サシノ御質問ト同ジコトナンデスガ、化學局長ガ御話ニナツタ「ブタヂエン」系ノ合成「ゴム」ナンカハ大阪ノ工業試験所デ試験シテ、ソレヲ日本化成デ工業化スト云フコトデアリマスガ、矢張り日産一「トン」トカ云フ御話、ソレカラモウ一ツ「クロロレン」合成「ゴム」デハ、「ブリヂストン・タイヤ」デアルノハ、是モ日産一「トン」、ソレカラ「トルオール」ノ方デハ、東京工業試験所ノ日本「カーバイド」工業デハ年産百「トン」ノ「バイロット・プラント」ヲ造ルト云フヤウナ局長ノ御話デシタガ、斯ウ云フコトカラ考ヘルト、日産一「トン」ト云フノハ丁度宜イ「スケール」デハナイカト思ヒマスガ、ソレヲ今ノ七條ニハ五百「トン」デナケレバ適用サ

レナイヤウニ書イテアリマスケレドモ、差當リ斯ウ云フ所ハ困リハシナイカト思ヒマスガ、其ノ點ハ如何ナモノデゴザイマセウカ

○政府委員(永田彦太郎君) 第一點ノ委員會ニ掛ケマスル限度ノ問題デゴザイマスガ、是ハ今後尙能ク研究致シテ、成ルベク餘リ委員會ニ御迷惑ノ掛ラナイヤウニ、而モ重要ナモノハ御審議ヲ經マスルヤウニト云フ方針デ一ツ考ヘテ見タイト思ヒマス、ソレカラ只今ノ合成「ゴム」竝ニ「トルオール」ノ「バイロット・プラント」カラ見マシテ、第七條ノ規模一年五百「トン」ト云フノハ少シ大キ過ギハシナイカト云フ御質疑デゴザイマスガ、只今造ッテ居リマスノハホンノ試験工場デゴザイマシテ、之ヲ事業トシテヤッテ參リマス場合ニハ、アレデハ到底小サ過ギルノデハナイカト考ヘテ居リマスノデ、年産五百「トン」位ト致シマシテモ、是ハ大キ過ギルト云フコトハナカラウト思ッテ居リマス

○委員長(子爵保科正昭君) 外ニ御質問ガナケレバ、モウ正午ニ近クナリマシタノデ一時休憩致シマシテ、午後一時三十分カラ再開致シマス

午前十一時五十五分休憩

午後一時五十三分開會

○委員長(子爵保科正昭君) 是ヨリ開會致シマス、午前ニ引續キマシテ有機合成事業法案ヲ議題ト致シマシテ、質問ヲ續行致シマス

(副委員長男爵伊藤一郎君委員長席ニ著ク)

○岡喜七郎君 チョット承ッテ見タイノデゴ

ザイマスガ、此ノ法案ハ會社ニ相當ナル設備、資力等ノ具備シテ居ル會社ニ許可ニナルト云フコトニナツテ居ルヤウデスガ、個人デ相當ナ經驗モアリ、又資力モ備ハッテ居ル者ガ、研究ヲシテ目的ガ付イテ出願シマシテモ、個人ノ名義デハ許可ニナラナイト云フ建前デスカ、チョット承ッテ置キタウゴザイマス

○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ法案ノ建前デハ、有機合成事業ヲヤリマスルモノヲ、會社ト限定致シテ居ルノデアリマス、此ノ點ハ、私共モサウ云フ風ニヤルコトガ個人ノ折角ノ發明、或ハ技術ヲ犧牲ニスルヤウナコトニナリハセスカト云フ點ヲ、相當心配致シマシタ結果、種々研究致シタノデゴザイマスルガ、何分ニモ此ノ有機合成事業法ノ目的ト致シテ居リマスル事業ハ、相當規模ノ設備ヲ要シマスルノデ、是ハドウシテモ個人ノ企業トシテヤルコトハ困難ヂヤナイカト思ヒマシテ、假令發明、技術等ガ或個人ノモノデ有リマシテモ、ソレヲ事業化スル時ニハ矢張り會社ノヤウナ形態ヲ採ラナケレバナラナイ現状ノヤウナ思ヒマス

○岡喜七郎君 御趣意ハ能ク分リマシタガ、併シ大規模ナ設備モシナケレバナラスカラ、到底個人ノ力ニ及バヌモノト認メラレト云フコトモ、見方一ツデ、如何ニ個人ト雖モ相當ナ資力ヲ備ヘタ者ハ、政府ノ望マレヤウナ設備モシ、方法モ立ツト云フコトデアレバ、一向差支ナイヤウニ私共考ヘマスルガ、又隨分サウ非常ナ大規模ノ

モノデナクトモ、段々發明ガ進歩シテ來マシタラバ、多年斯ウ云フコトニ没頭シテ茲ニ相當ナ資力ヲ有シテ居ル者ニハ出來得ル、サウ云フモノヲ、何モ必ズシモ會社組織ニセナケレバナラヌト云フヤウナゴト迄、制限サレルニ及バヌヂヤナイカト考ヘマスノデスガ、其ノ點ハ如何デゴザイマセウカ

○政府委員(永田彦太郎君) 御尤ナ御質問デゴザイマシテ、私共モサウ云フ事ガアリマシテハ甚ダ相濟マスト思ヒマシテ、其ノ點ハ此ノ法案ヲ立案シマスル時十分研究致シマシタノデアリマス、現在ニ於キマシテモ、大體此ノ法案デ許可シテ行カウト考ヘテ居リマスルヤウナ事業ハ、大體會社ノ事業デゴザイマシテ、將來生レテ參リマスルモノモサウヂヤナイカト考ヘマスルノデアリマス、尙此ノ法案ニ似タ事業法ガ、從來カラモ相當出テ居リマスノデアリマスガ、是等ガヤハリ事業ノ主體ヲ會社ニ限ッテ居リマス、會社ニ限定シマシタ爲ニ、今御話ノヤウナ心配モアルノデゴザイマスケレドモ、又其ノ半面カラ見マシテ、此ノ法案デハ、税金ノ免除デアリマスルコト云フ風ナ助成規定ヲ置イテ居ルノデアリマスガ、之ガ會社デアリマスルトハッキリト適用出來ルノデアリマスガ、個人ノ事業ニナリマスルト、其ノ點ガチョット適用ガムツカシイヤウナコトガゴザイマスノデ、助成ヲハッキリト出來マスルヤウニ、主體ヲ會社ニ限ッタノデアリマス、併シ今御話ノヤウニ、ソレガ個人ノ企業ヲ阻止スルヤウナコトニナツテハナラヌノデアリマスカラ、實際ハ個人デアリマシテモ、形式ヲ會社ニ整ヘテ參レバ、勿論此ノ事業法ヲ適用スルノデアリマ

シテ、實際ノ運用ニ於キマシテハサウ個人ノ企業ヲ壓迫スルト云フコトハナイモノト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○岡喜七郎君 御説明ノ御趣意ハ能ク了解致シマシタガ、發明ト云フ上カラ考ヘマスト、私共偶ニ工場ナゾヲ見學致スコトモアリマスガ、隨分其ノ工場デ長ク熟練シテ居ル職工ナドガ會社ニ勤メテ居ル傍ラ色々研究ヲ進メテ居ル、勿論職工ナドガ斯ウ云フ大計畫ヲスルコトハ無論出來マセヌケレドモ、個人ニ許サレテ置クト、相當ナ資本家ヲ求メルトカシテ、却テ事業ガ勃興スルヤウナ誘因ニナリハセヌカト云フヤウナコトヲ考ヘルノデアリマス、ソレガ會社デナケレバナラヌト云フコトニナルト、非常ニ苦心シテ發明シテ居ル者ナゾノ、何ト云ヒマスカ折角ノ苦心モ、誠ニ安ク其ノ會社ヘ持ッテ行ク、安イコトハ構ハスト致シマシテモ、ソレニ酬ユルダケノコトハ國家ガ見テヤルノガ當然デアラウ、ソレニハ矢張り必ズシモ會社デナクトモ、相當ナル資格ヲ備ヘテ居ルモノト政府ガ認メラレタラ、許サレル途ヲ開イテ置カレタガ、發明獎勵ノ上カラ言ヘバ私ハ適當ナル方策デヤナイカト考ヘル、其ノ邊ハ私モ素人デゴザイマスカラ一向經驗ヲ持チマセヌシ、實際ニハ何モ分リマセヌケレドモ、要スルニ發明獎勵ノ上カラ見マシタ私共ノ考デハ、モウ少シ廣ク途ヲ開ケラレタガ宜イノデハナイカト云フヤウニ思フノデアリマス

○政府委員(永田彦太郎君) 只今個人ノ發明ヲ活カス爲ニ事業ノ主體ヲモウ少シ廣ク認メタガ宜イノデハナイカト云フ御話デゴザイマシテ、誠ニ御尤ナコトト存ズルノデアリマスガ、私共ガ此ノ法案ヲ作リマス

際ニハ、第二十一條ノ研究試驗ニ對スル獎勵金ハ、是ハ別ニ會社ト云フ風ナ制限ヲ設ケマセヌデ、個人ノ試驗研究ニ對シテモ獎勵金ヲ交付スルコトニ致シテ居リマス、其ノ試驗研究ノ結果、其ノ發明ガ良イ物デアルト云フコトガ分リマスレバ、之ニ出資シヨウト云フ人モ出テ參リマセウシ、サウシテ又自分デ仕事ヲヤツテ參リマスル際ニモ、是ダケノ設備ヲ致シマスル爲ニハ相當ノ資金ヲ要スルノデ、其ノ資金ヲ出スト云フコトデアレバ形式上之ヲ會社ニシテ置クト云フコトハサウ億劫ナコトデハナイと思フノデアリマス、尙會社ニ致シマシタガ、他ノ個人ノ財産上ノ問題カラモ切離サレマシテ、此ノ事業ノ主體ト云フモノガハッキリシテ參リマス、又監督ノ上カラ申シマシテモ會社デアリマスルト其ノ財産狀態ガハッキリ分ルノデアリマスガ、個人デアリマスルト其ノ點ガ會社程明瞭デゴザイマセヌノデ、矢張り此ノ事業ヲヤツテ行クノハ一應會社ト限定致シマシテ、サウシテ監督ヲハッキリ出來マスルヤウニシタガ宜イノデヤナイカト考ヘテ居ルノデアリマス、吳々モ此ノ會社ニ限定スルト云フコトハ、既存ノ會社ダケヲ保護スルト云フ趣旨デアリマセヌノデ、是カラ出來テ參リマス新規ノ發明研究等モ、新シイ會社トシテドシノ之ヲ認メテ行ク積リデアリマスカラ、之ニ依リマシテ個人ノ發明研究ヲ壓迫スルト云フ風ナコトハナイモノト考ヘテ居ル次第デアリマス

○子爵大河内正敏君 只今ノ御質問ニ關聯シマシテ申上ゲテ置キタイと思ヒマス、發明者ヲ保護スルト云フ議論カラ行キマシテ、只今ノ岡君ノ仰セラレタル通りデアリマス、併シ又ソレヲ監督スル上ニ於テ、會社デナ

ケレバト云フノモ誠ニ御尤ナコトデ、唯此處デ問題ハ、新シク會社ニシマス時ニ、從來ノ研究トカ發明トカ云フモノニ對シテ、其ノ價值ヲナカク資本家ガ認メラレナイト云フコトデアリマス、一生懸命研究シタノハ、寧ロ一方カラ言ヒマス資本家ニ取ラレテシマツテ、發明者其ノモノハ利益ヲ得ナイ、無論多少ハ認メテ呉レマセウケレドモ、ドウシテモ認メ方ガ少イ、是ハ日本バカリデナシニ、「アメリカ」デモサウデアツテ、有名ナアノ「エヂソン」翁ガ、自分ノ發明ヲ會社ニスルコトハ懲リノダト云フ述懐ヲ漏シタコトモ聞イテ居リマス、皆初ハ良イヤウナコトヲシテ居ッテ、スッカリ取ラレテシマフ、「エヂソン」ノ言ヒマシタ例デ極端ナノハ、初メハ權利金ナドヲ相當ニ認メテ立派ナ會社ニシテ居ル、サウスルト會社ノ經營者ハ、此ノ會社ヲ故ラニ經營困難ニシテシマツテ、「エヂソン」ノ持ッテ居ル株ヲ殆ド價值ノナイモノニシテシマツテ、サウシテ全部株ヲ買取ッテシマツテカラ、「エヂソン」ノ發明ヲ初メテ本當ニ活用シテ、サウシテ利益ヲ擧ゲテシマフト云フヤウナコトヲ述懐シタノヲ、私直接デアリマセヌガ、間接ニ聞イテ居ル位デアリマス、併シ玆ニモウ一ツ日本デ考ヘテ戴キタイノハ、現在私共ガ直接ニ甚ダ殘念ナコトト思ッテ居リマスノハ、研究發明ニ對スル、何ト云ヒマスカ、報償金デスカ實施金デスカ、實施金ヲ相當ノ價格ニ見積ツテ、株式會社ノ株ヲ株デ遣ル譯デス、其ノ時ニ今日ノ資金調整法デハソレヲ認メラレナイ、コンナモノハイカスト云フコトデ、資金調整法ノ方デ發明報酬ト云フモノハ削ラレルノデス、デスカラ外ノ形ニ於テ之ヲ交付シナケレバナラヌト

云フ現狀ナンドスハモウ澤山私共ハ其ノ實例ニ接シテ居リマス、是ハドウモ今後ノ合成事業ナドニ對シテハ餘程考ヘテ戴カナイト、從來發明者トカ研究者ト云フモノハ資本家カラ虐メラレ抜イテ居ルト云ツテモ宜イ位デ、今度ハソレヲ認メヨウトスルトオ役所ガソレヲ抑ヘルト云フノデハ、如何ニモ研究發明者ニ對シテ氣ノ毒ダと思ヒマシテ、是デハ國家ノ發明ハ盛ニナラナイ、從ッテ合成事業モ振ハナイト云フコトヲ熟々感ズルノデゴザイマスガ、何トカ此ノ點ヲ一ツ御考ヘ願ヘナイデセウカ、丁度御質問ガアリマシタカラ、關聯シテ伺ヒタイと思ヒマス

○政府委員(永田彦太郎君) 從來發明者ニ報イラル點ガ薄クテ、結局資本家ノ喰ヒ物ニナルト云フ實例ガ多クタト云フ御話ハ、私モ左様ナ場合ガ多クアッタコトト存ズルノデアリマス、是ハ私共ト致シマシテモ、今後此ノ合成事業ノヤウナモノヲ發達サセテ行キマスルニ付キマシテハ、發明研究ト云フモノハ、ドウシテモ守リ立テテ行カナクチャナリマセヌノデ、從來ヨリモモット發明者ノ利益ガ擁護サレマスルヤウナ方策ヲ考ヘテ參ラナケレバナラナイト考ヘテ居ル次第デゴザイマス、今御話ノ資金調整法ノ運用ニ付キマシテモ、是等ノ點ニ遺憾ナ點ガアリマシタヤウデゴザイマスカラ、政府ト致シマシテハ十分將來是等ノ取扱ニ付キマシテ御話ノ御趣旨ニ副フヤウニ考慮ヲ致シテ參リタイト存ジテ居リマス

○岡喜七郎君 私が御尋ネシタコトニ今大河内子爵カラモ御希望ガアリマシタヤウデスガ、ドウモ斯ウ云フヤウナ法制ガ出來マシテモ、實際ノ活用ガドウモ不十分デハ

ナイカト思フヤウナコトガ、御施行後ニハ隨分アルノデハナイカト 私共ハ素人ナガラ考ヘル、今大河内子爵ノ御述ニナリマシタヤウニ折角發明シテ苦心シテ長イ間掛ッテ居ルノガ、今ノ會社デナケレバナラヌト

言ヘバ、會社ノ人ニ話ス、是ハドウモ實ニ殆ド無價値ノモノデモ扱フヤウナ何ヲ受ケルノデス、ソレ故ニ私ハ相當ナ資本家ガアツテ、自分ガ出來ル限りノコトハスルカラ、出來ルダケ尙研究ヲ續ケテ見テ呉レト云フノハ、何モ法律デ會社ヲ御拵ヘニナルヨリモ、ムヅカシイ面倒ナコトハ却テ起ラスダラウト思ヒマス、是ハモウ御調ニナリ、事實ヲ御呼出シニナッテ聽カレテ聽カレテモ、直グ明瞭ニナル話ダラウト思ヒマス、サウ云フモノニドウ云フ譯デ御許ニナラスノカ、一向立法ノ理由ガ私共ニハ分ラナイ、ソナニスウ云フ法制ニ、努メテ面倒ナ理由ヲ付セラレル必要ハナイノデアラウト云フヤウナ觀念ニ常ニ囚ハレルノデアリマス、私共重ネテ御答辯ハ得ヨウトモ思ヒマセスガ、希望ト致シマシテハ、他日御改正ニデモナレバ、此ノ點ヲ十分御施行後御注意ニナッテ所謂國家ノ爲ニスウ云フモノノ盛ニ起ルヤウニ御計畫ヲ願ヒタイト斯ウ考ヘル

○政府委員(永田彦太郎君) 只今御示ノ點ハ、私共モ運用ガ惡イ場合ニハ相當弊害ヲ伴フモノト云フコトヲ十分自覺シテ居リマスノデ、將來此ノ法律ガ出來マシタ際ニハ、十分其ノ點ニ注意ヲ致シテ参リタイト存ジマス、唯先程カラモ申上ゲマシタヤウニ、此ノ會社ト云フ形式ヲ採リマシタコトハ、之ニ依テ個人ノ新規ナ發明考案ヲ實施スルコトヲ妨ゲルト云フ風ナ趣旨ハ、全然ナイノデゴザイマシテ、唯形式ヲ會社ト云フ

コトニ致シテ居リマスケレドモ、之ニ依リマシテモ、其ノ運用ニ依ッテ個人ノ發明研究ヲ、出來ルダケ活カシテ行キタイト云フ根本ノ趣旨デゴザイマスカラ、其ノ點御諒承ヲ願ヒタイト存ジマス

○男爵安場保健君 之ヲ拜見シテ見ルト、現在ノ所デハ「クロロレン」系統ノ「ゴム」ト、ソレカラ「ブダヂン」系ノ「ゴム」ト、「トルオール」トガ對象ニナッテ居ルヤウデアリマスガ、外ノ「ベンゾール」トカ高級「アルコール」、其ノ他此處ニ舉ゲテ居ルモノニ付テモ相當ノ「スケール」ノモノニナッテ來レバ、此ノ方法ヲ適用サレル御積リデスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ法律ヲ適用致シマスノハ、適用品目トシテ舉ゲマシタモノ全部ニ適用致ス積リデゴザイマス、唯七條トソレカラ十條ノ免稅、機械器具ノ輸入稅ノ免除、此ノ二ツヲ適用シマスノハ、指定有機合成事業ト致シテ居リマスノデ、ソレヲ只今合成「ゴム」ト合成「トルオール」トニ致ス積リデ居ルノデアリマス、尙將來新シイ合成品ガ完成致シマシタ場合ニハ、矢張り之ニ加ヘテ参リタイト考ヘテ居リマス、差當リ合成纖維ノヤウナモノガ事業化サレテ参リマスレバ、之ヲ七條、十條ノ保護ヲ受ケル事業トシテ加ヘタイト思ッテ居リマス、其ノ外ノモノハ只今一應企業化致シテ居リマスモノデ、斯ウ云フヤウナ特殊ノ助成方法ヲ講ゼナイデモ宜イノデハナイカト斯ウ考ヘテ居ル次第デアリマス

○男爵安場保健君 「イソオクタン」トカ云フヤウナ高級「アルコール」類ナドヲ拵ヘル方面デモ、相當斯ウ云フ第七條ノ第十條ニ關スルヤウナ規定ガ必要デヤナイカト思フノデスガ、此處デ今一番國家ガサウ云フ方面デ

急ヲ要シテ居ルノデヤナイカト思ヒマスガ、ドウ云フ御考デセウカ

○政府委員(永田彦太郎君) 「イソオクタン」ハ一應人造石油製造法事業法ノ方デ是同ジヤウナ助成ヲシテ參ル途ガ拓ケテ居リマスノデ、其ノ方デ参リタイト思ヒマス、唯其ノ原料デアリマス高級「アルコール」迄ハ、コチラデ造ッタ方ガ便利ナ場合ガゴザイマスノデ、ソコ迄ハコチラニ入レテ居リマスガ、「イソオクタン」其ノ物ヲ目的トシテ居リマスル事業ハ、人造石油製造事業法ノ方デ之ヲ助成致シテ行クト斯ウ云フ考デゴザイマス

○副委員長(男爵伊藤一郎君) 他ニ御質疑ハアリマセスカ……

○男爵肝付兼英君 他ニ御質疑ガゴザイマセスカレバ、最後ニチヨット御伺ヒ致シマス、先程來小資本家ノ研究ニ關シマシテハ、相當ノ獎勵金ヲ御交付ダト云フコトヲ伺ヒマシマスガ、豫ネノ私達ガ今日一番必要ト實ハ思ッテ居テ實現シテ居ラナイ問題ガアルヤウニ思ヒマスガ、研究室カラ實際工場ニ移ス間ノ又特殊ナ研究ト云フモノハ、是ハ亦非常ナ困難ヲ極メルノデゴザイマスガ、寧ろ研究室ニ於ケル研究ヨリ、實際工場ニ移ス迄ノ研究ノ困難ト、期間ト云フモノ、或ハ資本的ニ困難ト云フ點モ非常ニ今迄ハ多イノデアリマス、折角良イ發明ヲ研究室デシテ居リナガラ、其ノ中間ノ研究ヲスルコトガ出來ナイ、而モソレニ對スル技術、技能ヲ持タナイ爲ニ、徒ニ埋メラレテシマフ、ソレガ爲ニ結局大資本家ニ良イモノデモ喰ハレテシマフト云フコトガ、非常ニ多イヤウニ考ヘテ居リマス、現在考ヘテ居ラレマスルヤウナ有機合成事業ハ、相當ナ資

本ヲ勿論要スルコトデゴザイマスカラ、其ノ中間ノ「パイロット・プラント」ニ至ル迄ノ費用ハ、少クモ十萬圓、多イノニナルト三十萬圓位捨テシマハナクテハナラナイヤウナ研究費ヲ、其ノ間ニ必要トスルノデアリマス、左様ナ無駄ナ金ヲ使ッテ迄ノ實際化スルダケノ資本ノナイモノガ非常ニ多イ、ソレガ今日迄ノ缺陷ダト思ッテ居ルノデアリマス、處ガ斯ウ云フ風ナ中間ノ施設ヲ、サウ云フ人ノ爲ニ出シテヤッテヤルト云フ好意的ナ人ハ、先ヅ資本家ニハナイ、實際問題トシテ……、成功スルカシナイヤウナモノニ對シテ資本家ガ二十萬三十萬ヲ捨テルト云フ人ハ殆ドナイ、非常ナ大資本ヲ持ッテ居ル會社デハ喜ンデ致シマスガ、サウデナイ所デハ殆ド手ガ出セナイト云フヤウナ實情デアリマス、ソコデ私達ノ希望致シマスルノハ、サウシタ良イ研究ヲシテモ、實際工場ニ移ス迄ノ世話ヲ燒ク一ツノ「プラント」ヲ、營利ヲ度外視シタ立場ニ於テ御計畫ヲ願ヒタイ、研究室デ研究致シテ居リマスル所謂研究家ナルモノハ、之ヲ實際「プラント」ニ移ス場合ニ於ケル技術或ハ經驗ト云フモノハ、全ク持チマセス爲ニ、色々不便ガアリ、缺點ガアルノデアリマス、又實際家ハ研究室ニ於ケル實際上ノ研究ヲ全然知ラナイ場合ガ非常ニ多イノデアリマス、サウ云フ兩方ノ缺點ヲ補ッテ、而モ良イ發明ガアツタ場合ニハ、之ヲ中間ノ設備ニ移シテヤル、サウシテ研究室カラ實際問題ニ移ス過程ニ於ケル自己ノ經驗ヲソレニ加ヘマシテ、サウシテ之ヲ立派ニ事業化スル迄育テヤル、斯ウシテ置キマスレバ、資本家ハ喜ンデ又有利ナ條件デ附イテ來ル、或ハ又自分ノ力ニ依ッテモ達成シ得ル場合モ出來

ヨウト思フノデアリマス、特ニ最近ノヤウ
ニ物資入手ガ非常ニ困難デアリマスカラ、
其ノ中間的ニ用ヒマス所ノ物資、資材ト云
フモノ、ガ非常ニ共通性ヲ持ツモノガ多イ、
其ノ研究ガ完成シテシマヒマス、十萬圓、
三十萬圓ト云フモノヲ其ノ儘棄テシマフ
場合ガ非常ニ多イ、之ヲ若シモ一箇所ニ於
テ利用スルコトガ出来マスカラバ、有無相
通ズル意味ニ於キマシテ、何處ノ發明ニモ
相當ニ之ヲ利用スルコトガ出来ル、同時ニ
サウシタツツノ設備ニ依ッテ、又電力ノ節約
或ハ「ボイラー」ノ節約ト云フヤウナモノガ非
常ニ出来ルノデヤナカラウカ、各會社々々
ガ非常ナ大キナサウシタ研究機關ヲ持ッテ、
銘々ガ銘々「プラン」ヲ以テ研究スル、而モ
濟ンデシマツテソレガ要ラナクナルト叩キ壤
シテシマフモノモアル、處ガサウ云フ設備
ガ一箇所ニアッテ共通シテ使フト云フコトニ
ナレバ、物資ノ節約上カラ言フデモ有效デヤ
ナカラウカ、而モサウ云フ中間的ノ仕事ヲ
スル爲ニ、非常ニ優秀ナル技術者ガ生ズル
ト云フコトハ、其ノ發明ヲシテ益、實際化ス
ル上ニ於テ非常ナ效果ヲ擧ゲ得ルノデナイ
カ、斯ウ云フヤウナ趣旨カラシテ、設備ニ
對シテハ當然利益ト云フコトハ考ヘナイ場
合ガ非常ニ多イノデ、斯様ナ設備ヲ政府ニ
於テ考ヘテ戴ケレバ、私ハ非常ニ效果的ダト
思フ、勿論今日國立ノ工業試驗所ト云フヤ
ウナモノガアッテ、或程度ノコトハ實現ヲ見
テ居リマス、ケレドモ、是ハ研究室ノ範圍
ヲ出ナイノデ、偶々中間試驗ト云フモノ其ノ規
模ハ極メテ小サイノデゴザイマシテ、之ヲ
實際工場ニ移スダケノ價值ノアルモノハ非
常ニ少イ、而モ技術者ガソコ迄ノ經驗ヲ
持ッテ者ガ官立、國立ノ工業試驗所ニ餘リ多

クナイト云フコトモ考ヘラレマスルノデ、
斯ウ云フ事業ヲ御計畫ニナルト同時ニ、今
申上ゲルヤウナ一般ノ發明家ニ對シテ最モ
必要ナ、而モ非常ニ合理的ナ有リ利ナスウ
シタ施設ヲ、何カ政府ノ力ニ依ッテ、或ハ半
官半民ノ建前ニ依ッテ、其ノ設備ヲ爲スコト
ニ依ッテ相當ナ收益ヲ擧ゲテ、一パイ／＼ニ
ヤッテ行ケルト云フヤウナ、方法デモ結構ダ
ト思ヒマス、或ハ全ク國立デ犧牲的ニヤッテ
戴クト云フコトモ結構ダト思ヒマスガ、左
様ナ意味ノ何カ施設ヲ御計畫下サレバ非常
ニ結構ダト豫ネ／＼實ハ考ヘテ居ッテ次第デ
アリマス、此ノ機會ニ當局ノ御意見ヲ伺ッテ
見タイト思ヒマス

○政府委員(永田彦太郎君) 只今肝付男爵
カラ、非常ニ示唆ニ富ミマシタ御質問ヲ伺ッ
タノデアリマスガ、私共全ク御同感ニ存ジ
マス、實ハ此ノ法案ヲ立案致シマスル際ニ
モ、其ノ中間ノ試驗ヲ先ヅ助ケテ行カナケ
レバナナイト考ヘマシテ、差當リ此ノ合
成「ゴム」ニ付キマシテハ來年度ノ豫算ニ八
十三萬圓ノ補助金ヲ計上致シテ居リマス、
是ハ只今御話ノ中間試驗工場ヲ造リマスノ
ニ付キマシテ、民間ダケニ犧牲ヲ負ハセル
ト云フコトハ氣ノ毒デヤナイカト考ヘマシ
テ、政府カラ補助金ヲ出サウト云フ考デ之
ヲ計上致シテ次第デアリマス、尙是ハ午前
ニモチヨット御話ヲ申上ゲタノデゴザイマ
スルガ、此ノ法案ト少シ遅レマシテ、半官半
民ノ投資會社、或ハ統制會社ト申シマスル
カ、サウ云フヤウナモノヲ造リマシテ、此
ノ事業ノ資金方面ヲ助ケテ行ッテ宜イノ
デヤナイカト云フ風ヲ考ヘテ居ルノデゴ
ザイマスガ、此ノ會社ニ於キマシテハ、獨
リ資金ノ供給バカリデナク、今御話ノ中間

試驗ノ如キモノモ此ノ會社ガ民間ノ發明研
究ノ中カラ良イモノヲ選定致シマシテ、自
カラ中間試驗ヲヤッテ行クト云フヤウナコト
ヲヤッテ参リタイト斯ウ云フ風ニ考ヘテ居
ルノデアリマスノデ、只今御話ノ御趣旨ニ
副ヒ得ルノデヤナイカト考ヘテ居リマス、
尙右ハ此ノ有機合成事業ニ關聯シテダケノ
コトデゴザイマスガ、一般的ナ問題ト致シ
マシテモ、只今御話ノヤウニ工業試驗所ハ
試驗室的ナ研究ヲ主ト致シ、中間試驗ト云
ヒマシテモ比較的規模ノ小サイモノデアリ
マス、是ハモウ少シ大規模ナ中間試驗迄、
矢張り國家ノ手デヤルヤウナ途ヲ開ク必要
ガアルノデハナイカト私共モ考ヘマシテ、
實ハ研究ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、近
イ將來ニ於キマシテ、豫算其ノ他ノ上ニ於
キマシテ、其ノ御審議ヲ願フヤウナコトニ
ナルノデヤナイカト考ヘテ居リマス

○男爵肝付兼英君 只今ノ御話ヲ承リマシ
テ、大變心強ク感じテ居ルノデスガ、今一
ツ御伺フ致シタイノハ、有機合成事業ト云
フモノノ範圍ト其ノ具體的定義ヲ、一ツ念
ノ爲ニ伺ッテ置キタイト思ヒマス

○政府委員(永田彦太郎君) 少シ専門的ナ
コトニナリマスノデ、説明員カラ御答ヘ致
サセタイト思ヒマス

○副委員長(男爵伊藤一郎君) 説明員ノ説
明ヲ許可スルコトニ御異議ゴザイマセスカ
ラ(「異議ナシ」ト呼フ者アリ)

○副委員長(男爵伊藤一郎君) ソレデヤド
ウゾ……

○説明員(稻見慎一君) ソレデヤ私カラ御
説明申上ゲマス、有機、無機ト云フ言葉ガ
ゴザイマスガ、有機無機ノ區別ハ、沿革的
ニ申上ゲマセストハッキリ御分リニナラヌカ
ト存ジマス、元々有機ト申シマスルノハ、
動植物カラ直接又ハ間接ニ得ラレマスル物
質ヲ有機ト申シマシテ、其ノ他ノモノヲ無
機ト申シタノデアリマスガ、是ハアマ昔サ
ウ云フ考デ物質ヲ區別シテ参リマシタガ、
其ノ後學術ノ進歩ニ從ヒマシテ、動植物カ
ラ得ラレマスル物質ヲ、其ノ他ノ物質ヨリ
人間ノ力ニ依リマシテ合成スルコトガ出
來テ参ッタノデアリマス、從ヒマシテ、
昔考ヘマシタヤウナ有機、無機ノ區別ト云
フモノガ改メラレルコトニナリマシタ、結
局有機物ト云フモノヲ能ク調ベテ見マス
ト云フト、總テ炭素ヲ主體トスル化合物デア
リマシテ、ソレニ水素、酸素、窒素等ガ色
色ノ形ト割合ダ結ビ付キマシテ、種々ナル
形ヲ形成シテ居ルモノデアリマス

〔委員長長子爵保科正昭君委員長席ニ復
ス〕

サレル品目ヲ製造スル會社ノ範圍デアリヤ
ウニ拜見致シマスガ、有機合成事業ニ從事
スル會社トシテハ、此ノ他ニマダ相當アル
コトト考ヘマスガ、如何ナルモノデアリマ
セウカ

○政府委員(永田彦太郎君) 御配布致シマ
シタ資料ハ、此ノ適用品目ニ關聯ナル會
社ダケヲ拾ヒマシタノデ、御話ノヤウニ有
機合成品ヲ造テ居ル會社ハ、此ノ他ニモマ
ダ澤山アルノデアリマス

○男爵肝付兼英君 今回大體適用サレルト
想像サレル品目ノ會社以外ニ、相當ノ有機
合成ニ關スル會社ガ既存ノモノガアルト致
シマスルト、此ノ法律ヲ愈々施行スルニ當リ
マシテハ、ソコニ補助ヲ受ケル會社ト受ケ
ナイ會社、制限ヲ受ケル會社ト受ケナイ會
社ト云フモノガ、錯綜シテ參ル譯デアリマ
ス、而モ有機合成事業ノ方ニ於キマシテハ
其ノ間劃然タル區別ヲ付ケルコトガ出來ナ
イ問題ガ非常ニ多イト思ヒマス、原料、材
料ヤ、「インタア・ミー・ディ・エイト」、所謂中
間體等ニ於キマシテ、ソレノ各會社ニ複
雜多岐ナ資料上ノ問題ガアラウト思フノデ
アリマスガ、ニモ拘ラズ、新シク出來ルモ
ノノ助成ノミヲ目的トスル場合ナラバ兎モ
角デゴザイマスガ、之ガ監督或ハ制裁ト云
フヤウナコト迄考慮サレルト云フコトニナ
リマス、既成ノ有機合成事業モ此ノ中ニ
含ミマセスト、統制上非常ナ「トラブル」ガ
起リハシナイカト云フコトヲ悞レルノデゴ
ザイマス、此ノ品目中ニ於キマシテモ、自
然一步々完成ヲシ、補助ヲ必要トシナク
ナツテ、獨立致スヤウニナリマスレバ、ソレ
等ハ政府トノ直接ノ關係ガナクナリマスガ、
此ノ事業法ニ依ッテ其ノ監督ヲ受ケルト云

フコトハアルニシテモ、既成ノ有機合成事
業ハ何ノ監督モ與ヘラレナイト云フコトニ
ナルト、ソコニ非常ナ差別ガ起ルコトモ考
ヘラレルノデゴザイマス、而モ既設ノ有機
合成事業ニ於キマシテハ、國費ヲ數千萬圓
既ニ使ッテ居ル、而モ其ノ法律ノ不備デアッ
タカ何デアツカ存ジマセヌガ、偶、政府ノ
援助ガ切レマス、全クノ無關係ノ立場ニ
置カレル爲ニ、之ガ統制監督ノ何等ノ權限
ヲ持タナイ或個人ガ其ノ會社ヲ自由ニ支配
スル結果ハ、場合ニ依ッテハ不當ノ利益ヲ得
或ハ其ノ他ノ會社ニ對シテ壓迫ヲ加ヘルヤ
ウナコトガアツテモ、政府トシテハ殆ド手ノ
下シヤウガナイト云フヤウナコトモアツタノ
デハナイカト云フ風ニモ想像致サレルノデ
ゴザイマス、今後斯ウシタ助成會社ニ國帑ヲ
相當費シテ置キナガラ、而モ後ニ至ッテ全然
手ヲ觸レルコトガ出來ナイト云フコトモ如何
カト思ハレル、此ノ機會ニ於キマシテ過去ノサ
ウシタ會社ガ若シモアルトスルナラバ、矢
張り此ノ統制ノ中ニ含メルヤウナ制度ヲ設
ケラレルト云フコトガ、最モ好イ「チャンス」
デハナカラウカ、斯様ニ考ヘルノデアリマ
スガ、當局ノ御意見ハ如何デアリマスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ法案ハ事
業者ニ保護助成ヲ與ヘルト同時ニ、其ノ監
督統制ヲ致シテ行クト云フ建前デ作リマシ
タノデ、保護助成ヲ受ケルモノニ對シテノ
ミ監督ヲ致シテ行クト云フ建前ニ致シテ居
ルノデゴザイマスガ、御話ノヤウニ此ノ事
業法ノ適用ヲ受ケマセヌ會社ニ對シテ、統
制或ハ監督ヲ致シテ行ク方ガ宜イヤウナ場
合モアラウカト存ジマスノデ、只今御示ノ
ヤウニ、此ノ法律ヲ適用シテ行クカ宜シイ
カ、或ハ他ノ方法手段ヲ執ッタ方ガ宜シイ

カ、ソレ等ノ點ハ尙私共能ク考究シテ見タ
イト存ジマスガ、只今御示ノ御趣旨ハ御尤
ト存ジマスルノデ、適當ニ考慮ヲ致シタイ
ト存ジマス

○男爵肝付兼英君 私ノ質問ハ是デ終リマ
ス

○男爵伊藤一郎君 先程此ノ合成事業法ノ
適用品目ノ中ニモ、燃料デハ高級「アルコー
ル」ヲ加ヘラレテ居ラレマスガ、尤モ「ベン
ゾール」ハ別デスガ、ソレデ此處ニ書イテア
ルノハ「ブタノール」「イソブチルアルコー
ル」ト一通リアリマスガ、系統圖ニアル「イ
ソプロピル・アルコール」「アミルアルコー
ル」等ヲ御加ヘニナラヌデモ宜シイノデア
リマスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今ノ所デハ
私共茲ニ掲ゲマシタヤウナモノヲ考ヘテ居
ルノデゴザイマスガ、將來尙必要ニ應ジマ
シテハ、品目ヲ附加ヘテ行クコトニ致シタ
イト存ジマス

○男爵伊藤一郎君 ソレカラ「グリコール」
ノ中ニ「グリコール」誘導體モ含マレテ居ル
ト解釋シテ宜シウゴザイマスカ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今ノ所デ
ハ、「グリコール」其ノモノヲ考ヘテ居ルノ
デゴザイマス、尙將來誘導體デ特別ノ助成
ヲシタ方ガ宜イト云フ風ナモノガ現レテ參
リマスレバ、附加ヘテ參リタイト存ジマス
ニ對シテ、合成樹脂ハモウ相當發達シテ居
ルカラ助成ノ必要ガナイト云フヤウナ意味
ノ局長ノ御話デアリマシタガ、合成樹脂
ト云フノハ、可ナリ範圍ガ廣クテ、例ヘバ
飛行機ノ窓硝子、アンナヤウナモノハ特殊
ナモノダシ、必要ダト思ヒマスガ、御加ヘ

ニナル必要ハアリマセヌカ

○政府委員(永田彦太郎君) 只今ノ所デハ、
合成「ゴム」ト合成「トルオール」等ヲ最初ノ
モノトシテ拾ヒ上ゲマシタノデゴザイマス、
御示ノ合成樹脂ノ如キモノモ、將來特別ノ
保護ヲ加ヘタ方ガ宜イト云フ狀態ニナリマ
スレバ、附加ヘテ行キタイト存ジマスガ、
只今ノ所デハ何分ニモ七條、十條ガ相當高
度ノ助成ノ方法デゴザイマスノデ、一應ハ
此ノ際最モ必要ナモノカラ之ヲ拾ヒ上ゲマ
シタヤウナ次第デゴザイマシテ、合成樹脂
ノ如キモノハ、將來其ノ必要ガアレバ之ヲ
加ヘテ參リタイト存ジマス、サウデゴザイ
マセヌデモ、第三條ノ許可ヲ受ケルコトニ
ナツテ居リマスルカラ、其ノ他ノ保護ハ受ケ
マスルシ、尙税金免除ニ付キマシテ合成「ゴ
ム」合成「トルオール」以外ノ品目デモ、適
用品目ト致シマシタ大部分ノモノハ、確カ
三年間ノ免除ヲ受ケルコトニナツテ居リマ
スノデ、一應其ノ程度ノ助成デ宜シイノデ
ヤナイカト考ヘテ居ルノデゴザイマス

○男爵伊藤一郎君 ソレカラ委員會ニ於テ
ハ、此ノ第六條即チ設備ノ増設又ハ變更ニ
付テ、一々會議ニ掛ケナケレバナナイヤ
ウニ規定シテアルヤウデゴザイマスケレド
モ、斯ウ云フ小サイコトハ餘リ複雑化スル
虞モアリマスカラ、ドウモ、又政府ノ意見
通りニナルノデヤナイカト思ヒマスガ、如
何デゴザイマセウ

○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ點モ、先
程ノ限度以上ノモノダケヲ、委員會ノ審議
ヲ願フコトニ致シマス積リデゴザイマス、
ソレヨリモ小サイ新設増設ハ、政府ダケデ
處理シテ行キタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○男爵伊藤一郎君 先程ノ大河内子爵ノ御

御

質問ニアツタ通り、此ノ種ノ工場ハ立地ノ關係カラ、滿洲ナシカト相當關係ガアルト思ヒマスガ、此ノ本邦ト滿洲國法人トノ關係デスネ、詰リ滿洲國法人デ内地ニ分工場ヲ持ッテ居ルモノナンカニ對シテノ取扱、ソレカラ滿洲ニアル日本人ノ分工場ニ對スル取扱ナンカニ付テ御伺ヒ致シタイト思ヒマス

○政府委員(永田彦太郎君) 本法案ハ國內ニダケ施行サレルコトニナリマスノデ、滿洲ニアル帝國法人ニ付キマシテハ適用ゴザイマセヌ、尙滿洲國法人ガコナラニ支店ヲ持ツ場合ノ點ニ付キマシテハ、私共將來考慮シナケレバナラナイト考ヘテ居ルノデゴザイマスガ、只今ノ所デハ第四條ノ制限ガアリマスルノデ、之ニ觸レルモノハ内地デハ仕事ガ出來ナイコトニナッテ居リマスガ、我が國ト滿洲トノ特殊事情ニ鑑ミマシテ、滿洲法人ノ取扱ニ付キマシテハ將來考慮ヲ致サナケレバナラナイト考ヘテ居リマス

○男爵伊藤一郎君 最後ニモウ一點、合成「ゴム」ダトカ合成「トルオール」ノ設備ノ新設又ハ増設スル期間ハ、第七條ニ依ルト、五年ト決メテアルガ、是モ五年デヤ少イヤウニ考ヘマスガ、其ノ點如何デゴザイマス

○政府委員(永田彦太郎君) 是ハ私共ノ立場ト致シマスト御同感デゴザイマシテ、モウ少シ延シテ行キタイト云フ風ナ氣持モ持ッゾデアリマスガ、之ヲ餘リ長ク致シマスルコトハ、是ガ特殊ノ助成方法デアリマスル關係カラ、如何カトモ考ヘラレマスルノデ、此ノ勅令ヲ以テ指定致シマシタ時カラ五年ヲ計算スルコトニ致シテ居リマスルノデ、愈、此ノ合成「ゴム」合成「トルオール」ノ工場ヲ、本格的ニ造ル計畫ガ出來マシタ時

ニ此ノ指定ヲ致シマシタナラバ、ソレカラ五年ト云フコトデアレバ完成ガ出來ルノデヤナイカト、斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマス

○男爵伊藤一郎君 モウ一點ダケ一ツ……、政府ニ於テサウ急ニ合成「ゴム」デアルトカ合成「トルオール」ナンカ、其ノ他ノモノヲ早ク確立ヲシナケレバナラヌトスレバ、多少外國依存ニナルカモ知レナイノデスケレドモ、「モデル・プラント」ナンカヲ輸入スル位ノコトヲ考ヘラレテハドウデゴザイマセウ、御意見ヲ伺ヒマス

○政府委員(永田彦太郎君) 若シ我が國ノ發明考案ガドウシテモ完成スル見込ノナイヤウナ場合ニハ、御話ノヤウニ外國ノ特許ヲ輸入スルト云フヤウナコトモ結構ト存ジマスルガ、只今ノ所デハ、合成「ゴム」合成「トルオール」等ニ付キマシテハ、我が國ノ發明ヲ十分守リ立テ行キ得ルモノト考ヘテ居リマスルノデ、此ノ方法ニ依リマシテモ、特ニ其ノ完成ガ遅延スルト云フ風ナコトハナイモノト考ヘマスルノデ、出來ルダケ國產デ賄ッテ行クト云フ趣旨カラ、外國ノ特許ヲ買ッテ來ルト云フコトハ、此ノ際ハ考ヘナイデ參リタイト斯ウ考ヘテ居リマス

○委員長(子爵保科正昭君) モウ御質問ハゴザイマセヌカ……ゴザイマセヌヤウデスカラ、最後ニ私一言伺ヒタイト思ッテ居リマスガ、御許ヲ願ヒタイ、ソレハ此ノ間、本會議ニ先日此ノ案ガ提出サレマシタ時ニモ、大河内子爵カラモ御質問モアリ、又此ノ委員會ニ於テ伊藤男爵カラモ御質問ガ只今アツタデアリマスガ、之ニ重複スルヤウデゴザイマスガ、私ハ一應御意見ヲ伺ッテ置キタイノデスケレドモ、今内地ニ於ケル製

品ヲ保護シテ行ク、外國カラ輸入シテ來ル製品ニ對シテ稅ヲ掛ケテ行ッテ、之ヲ稍、同ジヤウナ値ニ於テ内地ノ供給ヲ助ケテ行クト云フヤウナコトモ一ツノヤリ方デアリマスルガ、又外國ニ於キマシテ既ニ斯ウ云フ工業ガ起ッテ來ルコトハ勿論デアリマスシ、又外國ニ於キマシテハ「エキスパイ」モアリ、工場モアリ、又「パテント」モ澤山アルト思フノデゴザイマス、ソコデ今マア假ニ私ガ此ノ仕事ヲ起シマスニ付テ、今國內デ物資ノ不足ナ時、勞働ノ足ラナイノニ、又鐵其ノ外器材ノ配給ノ少イ間ヲ工面シテ此ノ「プラント」ヲ拵ヘマストキハ、可ナリ高イ費用ヲ投ジナケレバイケナイ、其ノ固定資本ハ隨分巨大ナモノトナルコトハ疑モナイヤウニ考ヘテ居リマスガ、ソコデ是ト、サウデナク他方面カラ外國ニアル「パテント」、專賣ヲ買ヒマシテ、外國デ總テノ之ニ對スル器材ヲ造リマシテ、ソレヲ輸入シタ方ガ、今度設備費ガ安クナルノデアアルカラ、非常ニ製品ハ安クナッテ來ル譯ダト思フノデアリマスガ、此處ノ條文デ見マスト輸入稅ト云フモノガゴザイマセヌカラ、國內デ造ルヨリハ遙カニ外國デ造ッタモノガ安クテ良イモノガ來テシマフノデスカ、ソコノ關係ヲドウ云フ風ニ御調節ニナルカ、ソコノ所ヲ重複致スヤウデゴザイマスガ、モウ一遍御説明ヲ願ヒタイノデゴザイマス

○政府委員(永田彦太郎君) 外國ノ特許ト設備ヲ共ニ買ッテ參リマスル際ニハ、是ハ相當多額ノ實施料ヲ拂ハナケレバナラナイト考ヘマスルノデ、寧ろ國內ノ發明ヲ育テテ參リマシテ、若シ國內ノ資材デ間ニ合ヒマセヌ時ニハ、其ノ必要已ムヲ得ザル部分ダ

ケ機械器具ヲ輸入スルト云フ方法ニ依リマシタ方ガ、比較的外貨ノ支拂ガ少クテ済ムノデヤナイカト斯ウ考ヘテ居ルノデゴザイマス、デ尙此ノ事業ヲ實施シマスルニ付キマシテハ、相當多額ノ資本ヲ固定致サナケレバナラナイノデゴザイマスルケレドモ、御承知ノヤウニ此ノ適用品目トシテ掲ゲテ居リマスルモノハ、其ノ大部分ヲ輸入ニ俟ッテ居ルモノデゴザイマスルノデ、是ガ國內デ生産サレルコトニナリマスレバ、相當多額ノ輸入防遏ニナルモノト考ヘマスルノデ、此ノ際ハ外國ノ特許ヲ買ッテ實施致シマスルヨリモ、國內デ國內ノ發明ヲ育テテ行ッタ方ガ對外支拂ノ關係カラ見マシテモ有利デハナイカト考ヘテ居ル次第デゴザイマス

○子爵大河内正敏君 私一言伺ヒタイト思ヒマス、只今ノ輸入稅其ノ他ノ問題デゴザイマスガ、私ハ此ノ前申上ゲマシタ通りニ委員諸公ト全然反對ノ意見ナンデゴザイマス、輸入稅ヲ免除スルコトスラ合成事業ノ爲ニ宜クナイ、詰リ化學機械ノ製造ト云フモノガ、日本デ出來ナケレバ、今後發明ハドンノ有效ニ早ク實施出來ナイト云フ說デアリマス、併シソレハ見解ノ相違ト言ヘバソレ迄デアリマスガ、私ガ是程ニ申スノハ、相當ノ理由ガアリマシテ、化學機械工業ノコトヲ少シ申上ゲテ置イタ方ガ、皆樣ニ能ク御分リニナルト思ヒマス、政府デハ既ニ其ノコトハ相當ニ御承知ノコトデアリマセウ、化學機械ト云フモノハ日本デ出來ナイト、斯ウ決メラレテ居ルガ、決シテサウデナイノデアリマス、日本デ出來ルノデゴザイマス、唯出來ナイノハ、合成箇、非常ニ大キナ合成箇デアリマス、硫酸其ノ他

ニ使ハレマス非常ニ大キナ合成筒、是ハ大
キイ程生産費ガ安クナリマスカラ、成ルタ
テ大キイ方ガ宜イ、併シ非常ナ高温高壓ノ
モノデアリマスカラ、大砲ノ製造所デナケ
レバ殆ド是ガ出来ナイ、從來ノ室蘭ノ日本
製鋼所デバカリヤツタ、ソコデモ其ノ大キナ
モノハ出来ナイ、今度ハ化學合成用ノ爲ニ
確カニ二萬「トン」ノ水壓機ヲ入レタト云フコ
トヲ聞キマシタ、是ガ据ハリマスト云フト、
歐米ニ負ケナイ大キナ合成筒ガドン／＼出
來ルヤウニナリマシテ、ソレダケハ出来ナ
カッタノデアリマスケレドモ、ソレモ今度
出來ルヤウニナツタ、サウスルト我々ハ機械
ノ方ノ専門カラ考ヘマスト云フト、何モ出
來ナイモノハナイノデス、何デモ出來ル、
現ニ私ノ從事シテ居リマス研究所發明シ
タコトヲ實際化スル場合ニハ、ソレニ
使ヒマス機械ヲ外國カラ輸入シタモノハ
一ツモゴザイマセヌ、皆自分ノ所デ造
ル、造レバ出來ル、唯從來ハ化學方面ノ技
術者ト、ソレカラ機械方面ノ技術者トガ
連絡ガ全クナイ、化學機械ト云フモノハ所
謂「ドッチカラモ可愛カラレナイ、誠ニ不遇
ナ立場ニ置カレテ居ル、此ノ爲ニ日本デハ
出來ナイ／＼」ト云フ風ニ考ヘラレテ居ツタ、
實際ハ何デモ出來ルノデス、ソレヲ一ツ能
ク御考ヲ願ヒマセヌト云フト、非常ニ無駄
ナコトヲ、外國ニ金ヲ拂ハナケレバナラス、
殊ニ値段ノ如キモ比較ニナラナイ位安ク出
來ルノデス、日本デ造リマス機械ガ外國ヨ
リモ高クナルデハナイカト云フノハ、外國
ノ多量生産ヲヤツテ居ル機械ヲ、日本デ多量
ニ造ラズニ、數箇造リマストソレハ高クナ
ル、例ヘバ自動車デゴザイマス、處ガ外國
デモ餘計造ラナイ化學機械、ソレヲ日本デ

造レバソレハモウ遙カニ外國ヨリモ安く出
來ル、ソレデアリマスカラ、此ノ合成事業
有機合成事業ヲ助成セラレルニハ、ドウシ
テモ機械ノ方ハ出來ルト云フコトヲ早ク一
般ニ商工省ガ「リード」致シマシテ進ンデ知
ラシテヤツテ戴キタイ、サウシテ化學機械工
業ト云フモノヲ茲ニ一ツ確立シナケレバイ
ケナイト云フ風ニ私ハ考ヘルノデアリマス、
特許ヲ、今ハ資材ガ非常ニ不足シテ高イカ
ラ、外國カラ買ツテ來ル方ガ安イト云フ風
ナ考モ出マスケレドモ、是ハ全然反對デア
リマシテ、今政府委員ノ御答辯ノ通り、一
例ヲ舉ゲマスケレドモ、例ヘバ「クルップ」
カラ買ヒマシタハ合成デハゴザイマセヌ
製鐵法デゴザイマス、「クルップ」法ト言ハ
レテ居ルアノ製鐵法、何デモナイ方法デ疾
ウニ前方カラヤツテ居ルコトデアリマス、唯
其ノ機械トソレカラ特許ヲ全部「ドイツ」カ
ラ買ツテ居ルガ、其ノ機械モ何デモナク日本
デ出來ル機械デアアル、其ノ爲ニ七百萬圓カ
拂ツテ居ル、實ニ馬鹿ゲタコトデアツテ、此
ノ位置ハ國家ノ損害ハナイト非常ニ憤慨シ
テ居ル、マア色々ナ事情モアツタ、日獨間ノ
關係モアツタガモ知レマセヌケレドモ、ド
ウモ實ニ残念ナコトデアリマス、私共ハ非
常ニ之ニ對シテ憤慨ヲ禁ジ得ナイ一人デア
リマス、其ノ他色々例ヲ舉ゲマスケレバ幾ラ
モゴザイマスガ、ドウカ一ツ、是ハ輸入税
免除ノ期間ガ五箇年ト云フコトモ私ハ長過
ギルト思ヒマス、ソナニ長クナツテモ、
ドン／＼ヤツテ行ケルト思ヒマスガ、併シ何
分今言ツタヤウニ一向意思ガ疏通シテ居リ
マセヌカラ、實際ニ造ラウトシテモ、實ハ
ヤレバ出來ルノヲ出來ズニ置クト云フ情
ケナイ狀態デアリマス、差當リ五箇年デモ

宜シウゴザイマスシ、或ハ出來レバ私ハ是
ハ三年位ニシテ戴イテ、サウシテ若シ其ノ
時ニマダ化學機械業者ト化學者ト工業化學
ニ從事スル技術者トノ間ノ連繫ガ取レズニ
出來ナカッタトスルト、出來ズニ居タラ、ソ
レハ出來ナイ方ガ惡イノデアリマスカラ、
其ノ時ニハ又勅令ヲ以テ期限ヲ延シテ戴ク
ト云フコトモ必要デアリマセウガ、是ハ何
トカシテ、此ノ輸入税ノ免除ト云フヤウナ
問題ハ、實際ニ若シ化學機械ノ製造ニ從事
シテ居ル者ガ聞キマスト云フト、實ニドウ
シテ我々ハコンナニ迄世間カラ虚メラレル
ノダラウ、國產品愛用ノ聲ハ何處ニモアル
ニ拘ラズ、化學機械ダケ繼子扱ニサレルト
云フコトヲ非常ニ憤慨スルト思フノデアリ
マス、其ノ點カラモ、政府委員カラハ能ク
御了解デ御答辯ガゴザイマシタガ、私ハ皆
様ト反對ニ、關稅ノ免除期間ト云フモノハ成
ルタケ短カクシテ戴キタイト云フヤウナ考
ヲ持ツテ居リマス、ソレカラモウ一ツハ外ノ
事業法デアリマスガ、今度營業税ノ免除ニ
對スル改正等ガアリマシテ、一度五箇年間デ
シタカ、斯ウ云フ風ニ同ジヤウニ許可シタ
モノガ、今度ノ改正デソレガ三年ニナツタト
カ云フノデ、業者ハ大分騒イデ居リマス、許可
シテ置イテ、サウシテ其ノ税ノ收入ノ爲ニ、
ソイツノ期間ヲ短カクスルノハ、二階ニ上ゲ
テ置イテ梯子ヲ取ラレタヤウナモノダト言ッ
テ業者ハ怒ツテ居リマス、是モ尤モナコトデ
アルト思ヒマスガ、併シ一方カラ言ヒマシ
タナラバ、是ハ其ノ一割ノ收益ヲ擧ゲタイ、
上ニ對シテノ問題デアリマスカラ、一向差
支ナイヤウニ私ハ考ヘルノデアリマス、今
ノハ輸入税ノ問題デハゴザイマセヌガ、此
ノ事業法デモ、後ニ期限ヲ短カクスルト云

フナラ、初メカラモウ期限ヲ短カクシテ置
カレタ方ガ宜イノデハナイカ、何カ斯ウ非
常ナ助成ヲスルヤウニ見セテ置イテ、途中
デソレヲ打切ルト云フコトハ色々ナ弊害モ
アル、其ノ點ハ此ノ事業法ニ對シテハドウ
云フ御考デアリマセウカ、モウ一遍伺ツテ置
キタイ
○政府委員(永田彦太郎君) 此ノ事業法ノ
第七條ハ、此ノ度別ノ法律デ從來ノ事業法
ノ免稅規定ヲ直シマシタノト、全ク同一ノ
事項ヲ書イテゴザイマスノデ、之ヲ更ニ又
短カクスルヤウナコトハゴザイマセヌノ
デ、其ノ點ハ御諒承願ヒタイト思ヒマス
○政府委員(秋元順朝君) 只今ノ國稅ノ方
ノ免除ニ付テノ此ノ事業法以外ノモノノ御
話ガゴザイマシタノデ、ソコヲチョット申上
ゲマス、御話ノヤウニ三箇年ト申シマスノ
ハ、一割以上ノ收益ヲ擧ゲタル場合デモ、
三年間ハ一割ニ制限シナイデ、一割以上上ゲ
マシテモソレヲ免稅スルト、斯ウ云フ趣旨デ
ゴザイマスカラ、大體サウ云フ風ニ御諒解
願ツタヤウニモゴザイマスガ、念ノ爲申上ゲ
マス、ソレカラ外ノ免稅規定ノ關係ハ、非
常ニ區々ニナツテ居リマシテ、ソレヲ比較的
摩擦ノナイ程度ニ於テ整理ヲ致シマシテ、
統一スルト云フ趣旨デ、今度ノ此ノ事業法
ニゴザイマスト同ジヤウニ、統一ヲ致シマ
シタ譯デゴザイマス、大シテ大キナ摩擦モ
起ラスコトト考ヘテ居リマス、ソレカラ輸
入税ノ免除ニ付テノ御話ガゴザイマシタガ、
斯ウ云フ事業ニ必要ナ器具機械等ニ對シテ、
輸入税ヲ免除致シマスコトハ寧ロ非常ナル
例外ト云フ風ニ考ヘテ、出來ルダケ範圍又
ハ期間ヲ短カク考ヘテ、相談シテヤツテ居ル
次第デゴザイマス、大河内子爵ノ御述ベノ

ヤウナ化學工業ト重工業トノ結合ノ問題ト云フコトモゴザイマスカモ知レマセスガ、其ノ外ニ例ヘテ見マスレバ、工作機械製造事業法ト云フヤウナモノヲ作リマシテ、工作機械ノ製造ノ爲ニ必要ナル免稅ノ特典ヲ、輸入稅ノ上デヤッテ行クト云フ風ニ致シマシテ、又其ノ一方、例ヘバ航空機製造事業ト云フヤウナモノニモ、ソレニ必要ナル器具機械ノ輸入稅免稅ト云フヤウナコトモ、現ニヤッテ居ルノデゴザイマスガ、其ノ間考ヘテ見マスルト、多少矛盾モゴザイマスノデ、航空機製造事業法ニ必要ナル器具機械ノ中ニハ、工作機械等モ入ッテ居ル譯デアリマス、サウ致シマスルト一方デ工作機械事業法ヲ作ッテ獎勵ヲ致シ、航空機製造事業ニ使フ工作機械ハ免稅モ致スト云フヤウナ事態ヲ生ジテ居リマスノデ、ソレ等ノ點カラ考ヘマシテモ、成ルベク國產ヲ獎勵スル、詰リ生産力ノ擴充ヲ助ケルト云フヤウナ意味カラモ、出來ルダケ制限シヤッテ參リタイト云フヤウナ考デゴザイマス、併シナガラ之ヲ又必要トスルト云フ理由モ一方ニハアルト考ヘマス、ソレハ多少一般的小問題ニナリマスケレドモ、現在ノ日本ノ國情ニ於キマシテ、現在政府ガ考ヘテヤッテ居リマスヤウナ範圍ノ、又現在狙ッテ居リマスヤウナ程度ノ生産力擴充ト云フモノハ、相當大規模ノモノデゴザイマスノデ、之ヲ現在考ヘラレテ居リマスヤウナ程度ニドン進メテ參リマス爲ニハ、矢張り極ク特殊ナモノニ限ッテ、或ハ内地ノ生産數量上ノ關係、技術上ノ關係ノアルモノモ勿論ゴザイマセウ、ソレ等ノ關係カラ、例外的ニハ斯ウ云フ事業ヲ助ケマス爲ニ、輸入稅ノ免除ヲ致スト云フ必要モアルト考ヘマスノ

デ、サウ云フ例外的ノ意味ヲ以テマシテ、輸入稅ノ免除ノ規定ヲ此ノ法案ニモ挿入シタト云フ風ナ考デアリマス、其ノ兩方面ノ調和ト云フヤウナコトモ、適當ニ實情ニ適スルヤウニ、將來モ考ヘテ參リタイト云フ風ニ考ヘテ居リマスカラ、一應御答ヘ致シテ置キマス

○子爵大河内正敏君 唯今ノ御說明デ能ク分リマシタノデスガ、チヨット此ノ法案ニハ餘リ關係ノナイコトデアリマスガ、一言伺ッテ置キタイノハ、自給自足ヲドウシテモヤラナケレバナラス、殊ニ其ノ自給自足ヲ最モ熱心ニ主張シテ居ラレルノガ陸海軍デアリマス、處ガ軍部ノ輸入スル油トカ機械トカ或ハ兵器ノヤウナモノデアリマス云フト、是ハ確カ關稅ヲ免除サレテ居ル、如何ニモ矛盾シタ政策デアルト思フノデアリマス、自給自足ト云フコトヲ考ヘテ居ラレルナラバ、何故軍部ノ關係品ダケガ免稅ヲサレル特典ヲ持ツノデアリマスカ、其ノ爲ニ國民ハ幾ラデモ軍事費ノ負擔ヲスルノデアリマスカラ、軍事費ガ殖エルカラ輸入稅ハ免除スルノダト云フコトハ、ドウシテモ言ヘナイト思ヒマス、ソレダカラシテ自給自足ヲ建前トシテ國內産業ヲ保護スルト云フ此ノ建前カラ申シマシテ、ソレデハ軍部ダケガ國內産業ノ保護ト云フコトニハマルデ無關心カト云フト、サウデハナクシテ、非常ニ熱心ニ國內産業ノ發展ヲ企圖シテ居ラレル、如何ニモ私ハ此ノ點ガ矛盾シテ居ルト云フコトヲ常ニ考ヘテ居リマス、此ノコトヲドウ考ヘマスカ、チヨット政府委員ニ伺ヒタイト思ヒマス

○政府委員(秋元順朝君) 只今軍ノ必要ノ爲ニ輸入スルモノニ付テノ輸入稅ノ御尋デゴザイマス、其ノ關係ノ輸入稅ノ免除ハ、主トシテ兵器、彈藥、爆發物、ソレカラ燃料用ノ礦油、軍艦ト云フヤウナコトヲ、關稅定率法ノ上デ規定シテ居ルノデゴザイマス、併シナガラ此ノ兵器ト申シマシテモ、是ハ極ク特殊ノモノニ、一定ノ範圍ノモノニ限リマシテ、軍部兩省、大藏省ノ間ニ諒解ヲ致シマシテ、材料等ニハ之ヲ及ボサスト云フコトニ致シテ居ルノデアリマス、從ッテ軍ノ輸入致シマス金屬材料、其ノ他ノ兵器材料、完成品デゴザイマセヌモノニ付キマシテハ、免稅ニナッテ居リマセヌノデゴザイマス、今申上ゲマシタヤウナ關稅定率法上ノ規定ハ相當古クカラノ規定デゴザイマシテ、其ノ運用モ出來ルダケ時宜ニ適シマスヤウニ相談ヲシテ運用致シテ居ルノデゴザイマス、國內ノ生産擴充トソレ等ノ免稅規定ノ關係ニ付キマシテモ、前トハ段々事情モ非常ニ急速ニ變リツ、アル今日デゴザイマスカラ、尙他ノ生産擴充等トノ關係ニ付テ關稅政策ヲ考ヘマス上ニ於キマシテモ、只今ノ軍需品トノ關係ノモノモ併セ考慮致シマシテ、關稅政策ヲ現狀ニ適スルヤウニ進メテ參ルト云フ必要ガアルト存ジテ居リマスノデ、十分研究ヲ致シタイト思ヒマス

○農務安場保健君 只今大河内サンノ御質問ニ關聯シマシテ、此ノ有機合成法トハ直接關係ガナイノデゴザイマスガ、此ノ際狀況ヲ伺ッテ置キタイト思フノデアリマス、只今大河内サンノ申サレタコトハ、至極日本ノ産業界ニ付キマシテハ願ハシキ理想的方法ダト思フノデアリマス、各種ノ合金鐵ノ製造デアルトカ、又化學用ニ使ヒマス資材ノ製作等ニ付キマシテ、遠ク「クルップ」アタリト日本製鐵トハ、其ノ間ニ距離ガアルヤウニ思フノデアリマス、從ッテ「ドイツ」デハ出來テモ日本デハ出來ナイト云フヤウナモノガ、相當マダアルヤウニ考ヘテ居ルノデアリマシテ、私ハドウモ是ハ日本製鐵ノ研究費ガ足ラナイ、又日本製鐵ノ技術者ノ缺乏ト云フヤウナコトガ、ソコノ原因ニナッテ居ルノデヤナイカト豫ネ「思ッテ居ルノデアリマシテ、日本製鐵株式會社ニナリマシテカラ、却テ八幡製鐵所時代ヨリモ研究費ノ額ナドハ一時非常ニ減ツタヤウニ承ッテ居リマス、最近多少殖エタヤウデアリマスケレドモ、ソノコトデ「ギヤップ」ガ出來タ爲ニ、國ノ必要トスルヤウナ特殊ノ鋼鐵ナドノ研究ガ非常ニ遅レタヤウニ聞キ及ンデ居ルノデアリマス、大河内博士ハサウ云フ方面ニ付テハ御専門デアリマスカラ、昨今ノ情況モ能ク御存ジデアルカト思ヒマスガ、日本製鐵ガアレダケノ配當ヲシテ居ル以上、モット積極的ニ此ノ資材ノ供給ニ付テ十分ナル研究ト、ソレカラ生産ノ規模ヲ擴大シテ費フコトガ必要ナノデヤナイカト私ハ考ヘテ居ルノデアリマスガ、其ノ點ニ付キマシテ、政府ハドウ云フ風ニ御考ニナッテ居リマスカ

○政府委員(小金義照君) 日本製鐵ノ研究費ハ年々殖エテ居リマスガ、是ハ研究題目ヲ其ノ事業年度毎ニ附加ヘベキモノハ新タニ附加ヘテ殖シテ居リマス、併シ是ハ需要者竝ニ政府ノ方面カラ見レバ、必ズシモ満足スベキ程ノ金額デモナイカト存ジマス、併シ御承知ノ通り八幡始メ、其ノ他色々試驗研究機關ヲ持ッテ居リマス、處ガナカノ「思フ様」十分ナル研究ガ爲シ遂ガラレナイノデアリマス、例ヘバ特殊鋼ニ致シマシテモ、ドン「進」ンダモノガ出來テ參リマスノ

デ、追掛ケテ研究ヲスルト云フヨリモ、先ヘ進ムヤウナ心組デ研究ヲサセル方ニ、内面指導ヲ致シテ居ルノデアリマスガ、マダ十分ナ所迄行ッテ居ルトハ考ヘマセス、今後引續キ十分其ノ點ニ留意致シタイト思ヒマス

○男爵安場保健君 サウ云フ風ナ狀況デゴザイマス、ドウモナカノ大河内博士ノ申サレタヤウナコトハ直グニ實現出來兼ルノデヤナイカト私ハ考ヘルノデアリマシテ、此ノ點ハ政府委員ヨリ大河内サンニ一ツ伺ヒタイノデアリマス……是ハ討論ニ入ッテ御伺ヒスルコトニ致シマセウ

○政府委員(小金義昭君) 只今ノハ全般的ノ極ク概説ヲ申上ゲタノデアリマシテ、品物ニ依リ或ハ素材ノ種類ニ依リ、完成シテ居ルモノモ相當ゴザイマス、ソコデ私共考ヘテ居リマスノハ、今日機械ニシテモ其ノ他ノ製品ニ致シマシテモ、矢張り素材カラ研究シテ行カケレバナラヌト云フノデ、其ノ素材ノ研究ガ非常ニ進ンデ居ルコトハ、是ハ十分申上ゲテ宜イト存ジマスガ、只何分ニモドシムノ進ンダモノガ外ノ國ニモ出來テ居リマスノデ、満足スベキ狀態ニハナカノナラヌ、斯ウ云フ意味デアリマシテ、例ヘバ「プレスマシン」ノ如キ、極ク近い將來ニ於テ日本ハ最も有力ナル國ノ一ツトナル、五本ノ指デナイ、三本ノ指ノ一ツ位ニ折ラレト云フ所迄行クコトハ、是ハ殆ド確實ナ問題ダト思ヒマス、少シ只今ノ概念的ナ御答ノ外ニ、具體的ニ相當ナモノガ出來ツ、アルト云フコトハ、是ハ事實デゴザイマス

○委員長(子爵保科正昭君) デハモウ御質問ゴザイマセヌカ

○男爵伊藤一郎君 只今ノ大河内子爵ノ御發言ニ關係シテチヨット政府ニ御伺ヒシタイノデスガ、本當ニ自力外國ニ依存セズニ、堅實ニ日本ノ國ノ産業ヲ進歩發達セシムル爲ニハ、大河内子爵ノ御説ノヤウニ關稅ヲ上ゲテ市價ヲ吊上ゲテ、競ッテ其ノ事業ガ興ルヤウニスルト云フコトガ最も早道ト、私モ能ク分ッテ居ルノデスケレドモ、併シ斯ウ云フ際ニ、正々堂々デハナクモ、曲リ形ニモ、幾分矜ヲ傷ツケルコトモアルケレドモ、兎ニ角現在ノ當該事業ヲ守リ立ッテ、一日モ早く製品ヲ出シタイト云フヤウナ場合ニハ、ソレハ日本デ何デモ出來ルト云フコトハ能ク分ッテ居リマス、ソレカラ化學工業、化學機械工業ガ遅レテ居ルト云フコトハ、色々ノ事情、環境ノ爲ニ遅レテ居ルト云フコトモ分ッテ居ル、出來ナイノデヤナイト云フコトモ分ッテ居リマスガ、兎ニ角日本ノ今ノ現狀ニ即シテハ、應急ノ措置トシテ何デモ彼デモ外國ニ依存シテ、外國カラ機械類ヲ輸入スルト云フノデハナク、例ヘバ極ク一部分デ、ドウシテモ日本デハヤリニクイ、例ヘバ「リンデ」ノ瓦斯分離機ト云フヤウナ、極ク一部分ノモノデモ宜イカラ、ソレヲ輸入シテ、サウシテ最も早く仕事ヲシテ、一日モ早く製品ヲ出スト云フコトガ現在ノ目的デスカラ、サウ云フ意味ニ於テ免稅ナシカモ先程ノ五年モ私ハモット延シテ戴キタイガ、五年ト決メテ置イテ、又將來延バセバ宜イト云フ御話ガアリマスガ、ソレデモ構ハナイカラ、兎ニ角本當ノ恒久的ナ日本ノ堅實ナル發達ト云フ意味カラ、現在一日モ早く合成事業ノ製品ヲ出シタイト云フヤウナ場合ニハ方法ヲ變ヘテモ宜イト思ヒマスガ、其ノ點チヨット政府ハドウ云フ

風ニソレヲ處置シテ將來行カレマスカ 御伺ヒ致シマス

○政府委員(永田彦太郎君) 只今ノ伊藤男爵ノ御話ト、私共ノ考ヘ方トハ全ク一致シテ居ルト存ジマス、根本ノ方針ニ於キマシテハ、出來ルダケ國產ノモノヲ使ッテ行クト云フ積リデ居リマスガ、只機械器具ノ中、其ノ一部ガ何等カノ故障ニ依ッテ國內デハナカノ早ク出來ナイト云フ風ナコトガゴザイマシタ場合ニ、其ノ部分ダケヲ輸入品ニ依ッテ補填致シマシテ、サウシテ此ノ合成事業ノ完成ヲ促進シテ行クト云フ風ナコトヲ考ヘタイト思ッテ居ルノデゴザイマス

○委員長(子爵保科正昭君) デハ他ニ御質問ガナケレバ、是デ政府ニ對スル質問ハ打切りマシテ御異議ゴザイマセヌカ

〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(子爵保科正昭君) 御異議ナイト認メマス、然ラバ之ニ續キマシテ、是ヨリ前ニ議題ト致シマシタ鑛業法中改正法律案及砂鑛法中改正法律案ノ討論ニ移リマス

○長世吉君 私、只今議題ニナリマシタ兩案ニ贊成デゴザイマス、茲ニ此ノ衆議院ニ於テノ修正ノ箇所ガアリマス、此ノ修正ノ箇所ニ付キマシテハ贊意ヲ表スルモノデアリマス、先達テ來ノ質疑應答ニ於キマス政府ノ御答辯ヲ伺ッテ見マスト云フト、政府ノ御意思ガ、是ハ提案ノ理由デモ判リマスガ……、委員長ニ伺ヒマスガ、只今議題ニサレタノハ全部デゴザイマスネ

○委員長(子爵保科正昭君) イエ、鑛業法中改正法律案及砂鑛法中改正法律案デス

○長世吉君 從ッテ衆議院ノ修正ハ入ッテ居ル譯デスネ

○委員長(子爵保科正昭君) 衆議院ノ修正ハ含ンデ居ルモノト心得テ居リマス

○長世吉君 ソレデ政府ノ御答辯ナリ、或ハ提案ノ理由ノ説明ナドヲ拜聽致シマスト所謂睡眠鑛區、殊ニ惡意ノ無爲無能ナル睡眠鑛區若クハ試掘權ト云フモノヲ排除スル、ソレニ依ッテ増産ノ目的モ達セラレ、新タニ資源ノ開發モハッキリシテ來ルト云フ御希望ガ非常ニ強イノデアリマシテ、此ノ點ハ無論私異議アル所デナイノデ贊成ナンデアリマス、ソレニ非常ニ御忠實デアルト云フカ、強過ギルト言ヒマスガ、其ノ半面ニ於キマシテ中ニハ善意ノ眠レル鑛區、善意ノ眠レル試掘權ト云フノハ甚ダ言葉ガ可笑シイノデアリマスケレドモ、サウ云フモノモ有リ得ルト思フノデアリマス、殊ニ人的ニモ物的ニモ資材ヲ得ルコトガ困難デアリ、又先達モ誰方カ言ハレマシタヤウニ、段々山奥ニモ入り、交通機關モ不便ニナリ、銳意試掘ニ掛ッテ居テモ四年ノ期間デハマダ短カイト云フヤウナモノモ有リ得ルト思フノデアリマス、サウ云フ風ナモノモソレ迄排除スルト云フ意味デハナイノデアリマスケレドモ、ドウモ一方ニ御意思ガ非常ニ強イガ爲ニ、俗ニ言ヘバ十把一掬ゲニシテ總テヲ排除セラレルカノヤウニ、何デモ四年デ打切りタイト云フコトニ相當強イ御意圖ガアルカノヤウニ思ハレル、サウシマスト場合ニ依リマス、良イモノハ其ノ儘保護スルト云フカ、宜ク取扱ッテヤル方ガ却テ増産ヲ助ケルト云フ場合モ有リ得ルヤウニ思ハレルノデアリマス、サウ云フモノノ迄モ排除スルヤウナ御意圖ガ非常ニ強イヤウニ伺ハレル、サウ云フモノニ對シテハ殆ド何ノ保護モ立法的ニハ與ヘラレテ居ナイ、多少優

先のノ地位ハアリマスケレドモ、鑛業法二十八條、二十九條ハ實ハ殆ド意味ヲ爲サナイノデアリマス、サウ云フ點カラ見マス、私ハ此ノ衆議院ノ過渡の場合ニ作ラレマシタ但書ノ修正ト云フハ寧ろ本文デ、即チ鑛業法第十八條第一項ニ附ケタイ位ニ思フノデアリマスガ、ソレハ將來ノ問題トシテ御研究ヲ願フトシマシテ、セメテ此ノ衆議院ノ修正ガアリマシタ點デモ、此ノ際トシテハ大變ニ結構ダト思フノデアリマス、處デ考ヘラレマスノハ、之ヲ實施サレル場合デアリマスガ、若シ私ノ言フコトガ或ハ少シ言ヒ過ギ、又杞憂ニ過ギナイノカモ知レマセヌガ、若シ只今申シマシタヤウナ、何デモ早ク試掘鑛區ヲ四年デ切りタイト云フ、御意思ガ強過ギルト云フヤウニ思ハレマス、此ノ但書ニ依マシテ、「已ムコトヲ得ザル事由アリト認ムルトキ」ト云フコトハ、主務大臣ノ認定ニナツテ居ル、サウ云フ御意思、御態度デ此ノ法規ヲ適用サレルト云フコトニナリマス、折角出來マシタ衆議院ノ修正案モ事實ハ有ツテ無キガ如キ結果ニナル、衆議院ノ修正ハ結局原案ト選ブ所ガナイヤウナ結果ニナルコトヲ惧レル、ソナナコトハアルマイト思ヒマスガ、ソレデアリマスカラ之ヲ實施サレル場合ニ、矢張り十把一紮ゲデナク、玉石ノ鑑別ヲ能クセラレテ、先達來豫算ガ足リナイト云フヤウナコトデ非常ナ御苦心ノアルコロハ御察シスルノデアリマスケレドモ、出來ルダケ鑑別ヲサレマシテ、サウ云フモノヲ保護スルト云フヨリハ、其ノ方ガ増産ノ目的ニ適フノダト云フモノニ向ツテハ、矢張り此ノ附則十條ノ但書ノ修正ヲ意義有ルヤウニ御適用アラムコトヲ希望致シマシテ私ハ贊成

致シマス

○委員長(子爵保科正昭君) 外ニ御發言ノ方ハゴザイマセヌカ

○男爵安場保健君 私モ此ノ法案ノ改正ニ付キマシテハ贊成致ス者デアリマスルガ、只今ノ御話ニモアリマシタ三十三條ノ二ノ改廢ニ付キマシテ、試掘權ト採掘權ノ間ニ權利喪失ノ場合ガ出來ルヤウナ虞ガアルコトニ付キマシテハ、當局ニ於テ十分ナル手配ヲシテ、サウ云フコトハ起サナイト云フ風ニ御取扱ヒニナルヤウナ御言明デアリマシタカラ、其ノ意味デ贊成致シマスガ、運用ノ上ニ於キマシテ色々ノ紛争ノ起リマセヌヤウニ、十分ノ御注意ト御努力ヲ希望シテ此ノ案ニ贊成致シマス

(贊成ト呼フ者アリ)

○委員長(子爵保科正昭君) ソレデハ此ノ、以上問題トナリマシタ兩案ニ御贊成ノ方ノ起立ヲ願ヒマス

(總員起立)

○委員長(子爵保科正昭君) 全會一致ト存ジマス、ソレデハ鑛業法中改正法律案竝ニ砂鑛法中改正法律案ノ兩案ハ原案通り可決致シマシタ、是デ散會致シマス

午後三時二十七分散會

出席者左ノ如シ

委員長 子爵保科 正昭君
副委員長 男爵伊藤 一郎君
委員

公爵岩倉 具榮君
伯爵柳澤 保承君
子爵大久保 立君
子爵大河内政敏君
岡 喜七郎君
長 世吉君

男爵肝付 兼英君
男爵安場 保健君

倉知 鐵吉君
小坂 梅吉君
松本勝太郎君
秋田 三一君
渡邊 甚吉君

政府委員

大藏書記官 秋元 順朝君
商工政務次官 加藤鏐五郎君
商工省鑛產局長 小金 義照君
商工省化學局長 永田彦太郎君

説明員

化學局合成課 稻見 慎一君
長商工技師

昭和十五年三月二十一日印刷

昭和十五年三月二十一日發行

貴族院事務局

印刷者 內閣印刷局